

中部大学学則

2009年度



中部大学

中部大学学則

第1章 目的

第1条 中部大学(以下「本学」という。)は、教育基本法並びに建学の精神にのっとり、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力をもつ有為な人材を育成し、もって人類・社会の発展と学術・文化の進展に寄与することを目的とする。

第2章 学部・学科及び収容定員

第2条 本学に置く学部・学科は次のとおりとし、学生はその一学部・学科を専修するものとする。

工学部	機械工学科、電気システム工学科、都市建設工学科、建築学科、電子情報工学科、応用化学科、情報工学科
経営情報学部	経営情報学科、経営学科
国際関係学部	国際関係学科、国際文化学科、中国語中国関係学科
人文学部	日本語日本文化学科、英語英米文化学科、コミュニケーション学科、心理学科、歴史地理学科
応用生物学部	応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学科
生命健康科学部	生命医科学科、保健看護学科
現代教育学部	幼児教育学科、児童教育学科

2 学部及び学科ごとの教育研究上の目的は、別表1のとおりとする。

第3条 本学の学部及び学科の収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	150	10	620
	電気システム工学科	80	10	340
	都市建設工学科	70	5	290
	建築学科	120	5	490
	電子情報工学科	80	5	330
	応用化学科	70	5	290
	情報工学科	100	10	420
	計	670	50	2,780
経営情報学部	経営情報学科	120	10	500
	経営学科	120	10	500
	計	240	20	1,000

国際関係学部	国際関係学科	50	7	214
	国際文化学科	50	7	214
	中国語中国関係学科	40	6	172
	計	140	20	600
人文学部	日本語日本文化学科	80	5	330
	英語英米文化学科	80	5	330
	コミュニケーション学科	80	5	330
	心理学科	80	5	330
	歴史地理学科	80	5	330
	計	400	25	1,650
応用生物学部	応用生物化学科	80	10	340
	環境生物科学科	80	10	340
	食品栄養科学科	80	10	340
	計	240	30	1,020
生命健康科学部	生命医科学科	100	0	400
	保健看護学科	100	0	400
	計	200	0	800
現代教育学部	幼児教育学科	80	5	330
	児童教育学科	80	5	330
	計	160	10	660

第4条 削除

第3章 修業年限・学年・学期及び休業日

第5条 本学の修業年限は4年とし、在学期間は通算8年を超えてはならない。

第6条 学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

第8条 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日であっても授業又は試験を実施することがある。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 開学記念日 11月19日
- (4) 学園創立記念日 12月8日
- (5) 春季休業日
- (6) 夏季休業日
- (7) 冬季休業日

- 2 前項第5号から第7号までの休業の期間は、別に定める。
- 3 必要がある場合は、第1項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 教育課程・履修方法及び単位認定

第9条 本学の学部・学科の教育課程は、別表2のとおりとする。

- 2 学生は、所属する学部・学科所定の教育課程を履修しなければならない。
- 3 学生は、前項に定める教育課程のほか、他の学部・学科が開設する授業科目を履修することができる。

第9条の2 学生は、本学が定める科目群の授業科目を副専攻として履修することができる。

- 2 副専攻の種類、科目群その他の必要事項は、別に定める。

第9条の3 本学に日本語教員養成講座を置く。

- 2 日本語教員養成講座の授業科目その他の必要事項は、別に定める。

第10条 本学が教育上有益と認めるときに限り、他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。以下「他の大学」という。)との協議に基づき、学生は学長の許可を得て当該大学の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定により履修し、修得した授業科目の単位は60単位を超えない範囲で、本学卒業に必要な単位に算入する。
- 3 他の大学での履修の期間は、原則として1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、協議の上、更に1年以内に限り延長することができるが、履修の期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 4 他の大学での履修の期間は、本学の在学期間に算入する。

第10条の2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学長の許可を得て、学生が短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を行った場合は、本学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第11条 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学において修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときに限り、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を本学における履修とみなし必要な単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第10条第2項及び前条第2項による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第 11 条の 2 第 52 条の 2 の規定による科目等履修生(大学の学生以外の者に限る。)として一定の単位を修得した者が本学に入学した場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したものと認められるときは、修得した単位数、その修得に要した期間等を勘案して、2 年を超えない範囲の期間をその者の修業年限に通算することができる。

第 12 条 教育課程の授業科目は、教養教育科目及び専門教育科目に分ける。

第 13 条 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)及び教育職員免許法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

学部・学科		免許状の種類
工学部	機械工学科 電気システム工学科 都市建設工学科 建築学科	高等学校教諭一種免許状(工業)
工学部	電子情報工学科工業コース 情報コース	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
工学部	情報工学科工業コース 情報コース	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(情報)
工学部	応用化学科工業コース 理科コース	高等学校教諭一種免許状(工業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
経営情報学部	経営情報学科	高等学校教諭一種免許状(情報)
経営情報学部	経営学科	高等学校教諭一種免許状(商業)
国際関係学部	国際関係学科 国際文化学科	高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
国際関係学部	中国語中国関係学科	高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 高等学校教諭一種免許状(中国語)
人文学部	日本語日本文化学科	中学校教諭一種免許状(国語) 高等学校教諭一種免許状(国語)
人文学部	英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語)
人文学部	コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民)
人文学部	心理学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(公民)

人文学部	歴史地理学科	中学校教諭一種免許状(社会) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
応用生物学部	応用生物化学科 農業コース 理科コース	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
応用生物学部	環境生物科学科 農業コース 理科コース	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
応用生物学部	食品栄養科学科 農業コース 理科コース	高等学校教諭一種免許状(農業) 高等学校教諭一種免許状(理科)
生命健康科学部	生命医科学科	高等学校教諭一種免許状(保健)
生命健康科学部	保健看護学科	養護教諭一種免許状
現代教育学部	幼児教育学科	幼稚園教諭一種免許状
現代教育学部	児童教育学科	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状

第 13 条の 2 本学応用生物学部応用生物化学科、環境生物科学科又は食品栄養科学科の食品衛生コースにおいて、食品衛生法(昭和 22 年法律第 233 号)に定める所要の単位を修得した者は、同法及び同法施行令(昭和 28 年政令第 229 号)の規定に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格を取得することができる。

第 13 条の 3 本学国際関係学部国際文化学科、人文学部日本語日本文化学科又は歴史地理学科において、学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)及び博物館法施行規則(昭和 30 年文部省令第 24 号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者のために学芸員課程を置き、課程に関する授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 13 条の 4 本学現代教育学部幼児教育学科において、保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行規則(昭和 23 年厚生省令第 11 号)の規定に基づき定められた所要の単位を取得しなければならない。

2 前項の資格を取得しようとする者が履修すべき授業科目、単位数その他の必要事項は、別に定める。

第 14 条 各授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

2 学生は、その履修しようとする授業科目を定めて、あらかじめ学長に申告しなければならない。

3 前項により履修科目として申告できる単位数は、各学部・各学年ごとに別に定める単

位数の上限を超えることができない。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、履修科目として申告することができる単位数の上限を超えて申告を認めることができるものとする。

第 15 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義については、15 時間から 30 時間までの授業をもって 1 単位とする。
- (2) 演習については、15 時間から 30 時間までの授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習、製図、実技は、30 時間から 45 時間までの授業をもって 1 単位とする。

第 16 条 一の授業科目の履修が終わったときには、試験・実習報告・実習状況・平素の学修状況等によってその成績を評価し、合格した者には、その科目の修了を認め単位を与える。

2 試験及び評価に関する事項は、別に定める。

第 17 条 本学の教育課程の各授業科目を履修するにあたって、「学修進行の制限に関する規程」に定める単位数を修得しない者は、第 4 年次の授業科目を履修することができない。

第 5 章 卒業及び学位

第 18 条 学部を卒業するには、4 年以上在学し、かつ、教育課程に定める科目を履修し、別に定めるところにより、128 単位以上を修得しなければならない。

第 19 条 学部を卒業した者に学士の学位を授与する。

2 学士の学位は、専攻分野により次のとおりとする。

工学部	学士(工学)
経営情報学部	学士(経営情報学)
国際関係学部	学士(国際学)
人文学部	学士(人文学)
応用生物学部	学士(応用生物学)
生命健康科学部	
生命医科学科	学士(生命医科学)
保健看護学科	学士(看護学)
現代教育学部	学士(教育学)

3 学位の授与に関しては、中部大学学位規程(昭和 46 年 4 月 1 日制定)の定めるところによる。

第 6 章 外国人留学生に関する授業科目等の特例

第 20 条 この章において「外国人留学生」とは、外国籍を有し、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学した者をいう。

第 21 条 外国人留学生に対する教育上の必要から第 9 条に規定するもののほか、各学部において日本語に関する科目を開設することができる。

2 外国人留学生に係る卒業の要件として修得すべき単位数は、第 18 条の規定にかかわらず、外国人留学生が日本語に関する科目を履修し、所要の単位を修得した場合は、別に定めるところにより、教養教育科目の単位に代えることができる。

第 7 章 入学、退学、転学、留学、休学、復学及び除籍

第 22 条 入学の時期は、学年の始めとする。再入学、編入学及び転入学の場合も同様とする。

第 23 条 本学に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に終了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者で、その後本学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達したもの

第 24 条 入学志願者は、所定の書類に検定料を添えて、所定の期日までに願出しなければならない。

2 入学志願の手続に関する事項は、別に定める。

第 25 条 入学を許可すべき者は、入学志願者について選考の上、決定する。

2 入学者選考に関する事項は、別に定める。

第 26 条 次の各号の一に該当する者で、本学の第 3 年次に編入学を志願する者については、選考の上、学長が入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
 - (2) 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号。以下「施行規則」という。)附則第 7 条に規定する者
 - (3) 短期大学を卒業した者
 - (4) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
 - (5) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上であるものに限る。)を修了した者(第 23 条に規定する入学資格を有する者に限る。)
 - (7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。)
- 2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。
- 3 第 24 条の規定は、第 1 項の規定により編入学を志願する場合に準用する。
- 第 26 条の 2 次の各号の一に該当する者は、収容定員に欠員のある場合には、選考の上、学長が相当年次に入学を許可することがある。
- (1) 他の大学の学生で当該学部長又は学長の承認を得て本学に転入学を志願する者
 - (2) 大学を卒業した者又は法第 104 条第 4 項の規定により、学位を授与された者で本学に編入学を志願する者
 - (3) 施行規則附則第 7 条の規定により、本学に編入学を志願する者
 - (4) 短期大学を卒業した者で本学に編入学を志願する者
 - (5) 高等専門学校、国立養護教諭養成所及び国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者で本学に編入学を志願する者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上であるものに限る。)を修了した者で、本学に編入学を志願する者(第 23 条に規定する入学資格を有する者に限る。)
 - (7) 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者(法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。)で、本学に編入学を志願する者
- 2 前項により入学した者の在学期間及び既修単位の認定に関する事項については、別に定める。
- 3 第 24 条の規定は、第 1 項の規定により編入学を志願する場合に準用する。

第 26 条の 3 第 26 条第 1 項及び第 26 条の 2 第 1 項による入学者選考に関する事項は、別に定める。

第 27 条 入学を許可された者は、指定の期日までに、次の手続をとらなければならない。

- (1) 保証人連署の誓約書を提出すること。
- (2) 住民票又はこれに代るものを提出すること。
- (3) 所定の授業料等を納付すること。

2 故なく、前項の手続をしないときは、入学許可はその効力を失う。

第 28 条 病気その他やむを得ない理由により、2 か月以上修学することができない者は、理由書(病気による場合は医師の診断書)を添えて学長に願い出て、許可を得て休学することができる。

2 休学できる期間は、1 年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、許可を得て延長することができる。

3 休学の期間は、通算して 4 年を超えてはならない。

第 29 条 病気その他の理由により、修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は、教授会の議を経て休学を命ずることができる。

第 30 条 休学期間は、第 5 条に規定する在学期間に算入しない。

第 31 条 休学の理由が終って復学しようとする者は、理由書(病気による休学の場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第 32 条 他の大学に転学しようとする者又は他の大学の入学試験に応じようとする者は、理由書を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第 33 条 現に在籍している学部・学科の学生が、他の学部・学科に転学部・転学科を志望する場合は、願い出により、選考の上、学長は、教授会の議を経て第 2 年次又は第 3 年次に転学部・転学科を許可することができる。

2 前項に関する事項については、別に定める。

第 34 条 退学しようとする者は、理由書(病気による場合は医師の診断書)を添えて、学長に願い出て、許可を得なければならない。

第 35 条 本学が教育上有益と認めるときに限り、外国の大学との協議に基づき、学生は、学長の許可を得て当該大学に留学することができる。

2 第 10 条第 2 項、第 3 項及び第 4 項の規定は、前項の場合にこれを準用する。ただし、外国の大学との協定に基づく 2 学位プログラムによる留学の場合は、原則として 2 年間の履修を必要とするため、第 10 条第 3 項の適用を除外する。

第 36 条 次の各号の一に該当する者は、これを除籍する。

- (1) 第 5 条に規定する在学期間を超えた者
- (2) 第 28 条第 3 項に規定する休学期間を超えた者
- (3) 休学期間が終っても所定の手続きをしない者
- (4) 死亡した者

(5) 授業料納付の義務を怠り、督促しても納付しない者

第 37 条 第 34 条の規定による退学者及び前条第 5 号の規定による除籍者については、本人の願い出により、学長は、教授会の議を経て再入学させることができる。

第 8 章 授業料、入学料及び検定料

第 38 条 本学の各学部の授業料、入学料及び検定料の額は、次の表のとおりとする。ただし、第 5 条に規定する修業年限を超えて在学する者及び私費外国人留学生の授業料の額並びに入学試験において複数日の受験又は複数学科の受験を出願する者の検定料の額については、別に定めることができる。

区分		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
授業料	工学部	(円) 930,000	(円) 940,000	(円) 950,000	(円) 960,000	(円) 3,780,000
	経営情報学部	730,000	740,000	750,000	760,000	2,980,000
	国際関係学部	770,000	780,000	790,000	800,000	3,140,000
	人文学部	770,000	780,000	790,000	800,000	3,140,000
	応用生物学部	930,000	940,000	950,000	960,000	3,780,000
	生命健康科学部					
	生命医科学科	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	4,020,000
	保健看護学科	960,000	970,000	980,000	990,000	3,900,000
	現代教育学部	720,000	730,000	740,000	750,000	2,940,000
入学料	280,000円					
検定料	35,000円					

第 39 条 授業料の納付は、各年次に係る授業料について、春学期及び秋学期の 2 期に区分して行うものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

2 前項の授業料は、春学期にあつては 4 月 1 日から 10 日までに、秋学期にあつては 10 月 1 日から 10 日までに納付しなければならない。ただし、新たに入学を許可された者は、指定の期日までに春学期の授業料を納付しなければならない。

第 39 条の 2 春学期又は秋学期の全期間を休学する者のその期の授業料は、納付を免除する。ただし、別に定める在籍料を指定の期日までに納付しなければならない。

第 40 条 秋学期の納付の時期前に退学する者の納付する授業料の額は、授業料の年額の 2 分の 1 に相当する額とする。

第 41 条 経済的理由によって納付が困難な者については、その者の申請に基づいて、納付を猶予することができる。

第 42 条 入学料は、入学するときに納付しなければならない。ただし、再入学する者その他別に定める者については、入学料の納付を免除する。

第 42 条の 2 検定料は、入学、編入学又は再入学を出願するときに納入しなければならない。

第 42 条の 3 既納の授業料、入学料及び検定料は、返付しない。ただし、入学手続き時に納付された授業料の取扱いについては、別に定めることができる。

第 9 章 賞罰

第 43 条 学生として表彰に価する行為があったときには、学長は、教授会の議を経て、これを表彰することができる。

第 44 条 学生が本学の定める諸規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為があったときは、学長は、教授会の議を経て、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する学生に対して行うことができる。

(1) 性行不良で、改善の見込がないと認められた者

(2) 学力劣等で、成業の見込がないと認められた者

(3) 正当な理由がなくて、欠席が長期にわたる者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 10 章 研究生及び聴講生

第 45 条 本学において特定の事項について研究することを願い出た者がいるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、研究生として許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、本学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者とする。

第 46 条 研究生の研究期間は半年とする。ただし、事情によって延長することができる。

2 研究期間が終了したときは、研究生としての在籍証明書を交付することができる。

第 47 条 研究生の研究料は、1 か月 28,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、35,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の研究料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 48 条 本学の授業科目のうち特定の科目を聴講することを願い出た者がいるときは、本学の学生の修学を妨げない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することができる。

2 聴講生を志願することのできる者は、第 23 条に規定する入学資格を有する者又は本学教授会において適当と認めた者とする。

第 49 条 聴講生の聴講期間は、聴講科目について授業の行われる期間とする。

2 聴講科目の試験に合格した者には、証明書を交付することができる。

3 聴講生として取得した単位は、本学正規の課程の単位としては認められない。

第 50 条 聴講生の聴講料は、1 科目につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなけ

ればならない。

2 既納の聴講料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 51 条 研究生及び聴講生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第 11 章 特別聴講学生

第 52 条 他の大学又は外国の大学に在学中の学生で本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、当該大学との協議に基づき、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

第 11 章の 2 科目等履修生

第 52 条の 2 本学の学生以外の者で、一又は複数の授業科目を履修し、単位を修得しようとする者がある場合、学部において適当と認めるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

第 52 条の 3 科目等履修生を志願することのできる者は、第 23 条に規定する入学資格を有する者とする。

第 52 条の 4 科目等履修生の入学の時期は、当該授業科目の授業が行われる学期の始めとする。

第 52 条の 5 科目等履修生の授業料は、1 単位につき 10,000 円とし、指定の期日までに納付しなければならない。

2 検定料は、5,000 円とし、願い出と同時に納付しなければならない。

3 既納の授業料及び検定料は、理由のいかんを問わず返付しない。

第 52 条の 6 その他科目等履修生に対しては、本学の学生に関する規定を準用する。

第 12 章 職員組織

第 53 条 本学に次の職員を置く。

学長

副学長

学部長

教授

准教授

講師

助教

助手

事務職員

技術職員

2 前項に定めるほか、必要に応じてその他必要な職員を置くことができる。

第13章 協議会及び教授会

第54条 本学に重要な事項を審議するため、中部大学協議会(以下「協議会」という。)を置く。

第54条の2 協議会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学監
- (4) 学長補佐
- (5) 学部長
- (6) 研究科長
- (7) 事務局長
- (8) 教務部長
- (9) 学生部長
- (10) 学長の指名した者

第54条の3 協議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学則その他重要な規程の制定又は改廃に関する事項
- (2) 研究科、専攻、学部、学科その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項
- (3) 教育活動の基本方針に関する事項
- (4) 学生支援の基本方針に関する事項
- (5) 研究活動の基本方針に関する事項
- (6) 国際交流の基本方針に関する事項
- (7) 安全・危機管理の基本方針に関する事項
- (8) 教育研究活動等に係る評価の基本方針に関する事項
- (9) その他大学の運営に関する重要事項

第55条 学部に、学部の重要な事項を審議するため、教授会を置く。

第55条の2 教授会は、教授をもって組織する。

2 前項の組織には、審議事項に応じ、准教授その他の教育職員を加えることができる。

第56条 教授会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 学科、講座、学科目の設置、廃止等学部の組織に関する事項
- (2) 教育課程の編成に関する事項
- (3) 学生の入退学、試験、卒業等に関する事項
- (4) 学生の厚生補導に関する事項
- (5) 教育職員の人事に関する事項
- (6) その他学部の重要な事項

第14章 図書館

第57条 本学附属三浦記念図書館を置く。

2 附属三浦記念図書館の管理・運営その他必要な事項は、別に定める。

第15章 学生寮

第58条 本学に学生寮を置き、学生の願い出により選考の上、入寮を許可する。

2 学生寮に関する規則は、別に定める。

第16章 公開講座

第59条 地方文化の向上発展に資するために、適宜地方の実情に即した公開講座を開催することがある。

第17章 雑則

第60条 この学則の施行に関し必要な事項は、施行細則で定める。

附 則

この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

<昭和40年4月1日から平成6年3月31日までの改正附則は省略>

附 則

1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。

2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～ 平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1,000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260

	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 この学則施行の際、平成2年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成6年6月1日から施行し、改正後の第54条の2の規定は、平成6年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成6年6月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	20	100
	工業物理学科	80	40
	計	1,000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110

	計	220	220
--	---	-----	-----

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成3年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1,000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成4年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～平成10年度	平成11年度
工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1,000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、平成5年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	
		平成3年度～平成10年度	平成11年度

工学部	機械工学科	220	160
	電気工学科	160	140
	土木工学科	120	100
	建築学科	120	100
	電子工学科	180	160
	工業化学科	120	100
	工業物理学科	80	40
	計	1,000	800
経営情報学部	経営情報学科	260	260
	計	260	260
国際関係学部	国際関係学科	110	110
	国際文化学科	110	110
	計	220	220

- 3 人文学部に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成12年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則の施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、工学部、経営情報学部及び国際関係学部に係る平成11年度の入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	220
	電気工学科	160
	土木工学科	120
	建築学科	120
	電子工学科	180
	応用化学科	120
	工業物理学科	80
	計	1,

		1,000
経営情報学部	経営情報学科	260
	計	260
国際関係学部	国際関係学科	110
	国際文化学科	110
	計	220

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第9条別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成6年4月1日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 工学部工業物理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成12年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科に係る適用規定は、なお従前の例による。
- 3 工学部土木工学科、建築学科、応用化学科及び情報工学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成14年度からこれを適用し、工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成12年度の収容定員は、改正後の第3条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	220	15	910
	電気工学科	140	10	640
	土木工学科	110	10	490
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	160	10	720
	応用化学科	120	10	500
	情報工学科	120	0	120
	工業物理学科	0	0	240
	計	990	65	4,120
経営情報学部	経営情報学科	260	20	1,080
	計	260	20	1,080
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	100	10	450
	計	210	20	910

- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の第 9 条別表及び第 13 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、平成 7 年 4 月 1 日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部、経営情報学部及び国際関係学部の平成 13 年度の収容定員は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	200	15	890
	電気工学科	110	10	590
	土木工学科	100	10	470
	建築学科	120	10	500
	電子工学科	120	10	660
	応用化学科	100	10	480
	情報工学科	120	0	240
	工業物理学科	0	0	160
	計	870	65	3,990
経営情報学部	経営情報学科	250	20	1,070
	計	250	20	1,070
国際関係学部	国際関係学科	110	10	460
	国際文化学科	90	10	430
	計	200	20	890

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第 9 条関係)及び第 13 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 平成 13 年度以降に人文学部各学科、工学部情報工学科及び応用生物学部各学科に入学する学生に係る教養教育科目については、改正後の別表(第 9 条関係)教養教育科目()を適用する。
- 5 この学則施行の際、平成 8 年 4 月 1 日以前に入学した者を除き、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成 13 年 5 月 22 日から施行し、平成 13 年 1 月 6 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 13 年 5 月 24 日から施行し、平成 13 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 13 年 11 月 21 日から施行し、平成 13 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 経営情報学部経営情報学科、経営学科及び人文学部コミュニケーション学科、心理学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 16 年度からこれを適用し、工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 14 年度の入学定員は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	190
	建築学科	120
	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	140

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第 9 条関係)及び第 13 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、建築学科、応用化学科及び経営情報学部経営情報学科の平成 15 年度の入学定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
工学部	機械工学科	180
	建築学科	120
	応用化学科	100
経営情報学部	経営情報学科	130

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の額による。
- 5 この学則施行の日以後において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 工学部電気工学科、土木工学科及び電子工学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 人文学部英語英米学科及び歴史地理学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成18年度からこれを適用する。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 工学部情報工学科、人文学部日本語日本文化学科及び応用生物学部食品栄養科学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成19年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表(第9条関係)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正

後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成 17 年 5 月 24 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 17 年 10 月 14 日から施行し、平成 17 年 10 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 17 年 12 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表（第 9 条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第 38 条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成 19 年 12 月 26 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 工学部機械工学科、同電子情報工学科及び現代教育学部幼児教育学科、同児童教育学科に係る 3 年次編入学定員の規定は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず、平成 22 年

度からこれを適用する。

- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則施行の際、現に在学する者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 この学則施行の日以降において、編入学又は再入学した者に係る授業料の額は、改正後の第38条の規定にかかわらず、当該者の属する年次の在学者に係る額と同額とする。

附 則

この学則は、平成21年1月21日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 国際関係学部国際関係学科、同国際文化学科及び同中国語中国関係学科に係る3年次編入学定員の規定は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成23年度からこれを適用する。
- 3 この学則施行の際、現に在学する者については、改正後の別表2（第9条関係）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（第2条関係）

教育研究上の目的

学部・学科	教育研究上の目的
工学部	個の人間形成に必要な教養、時代を超えた普遍的な幅広い基礎知識、専門知識と実務知識並びにその応用力を自ら学ぶことによって修得し、発想を現実のものにするための複眼的な論理的思考法を訓練することにより、地域社会を中心にして、日本さらには国際社会において、状況の変化や時代の要請に応じて柔軟に対応して活躍できる能力を身に付け、開拓者精神に満ちた心身共に健全な技術者（教育者、研究者を含む。）を育成する。
機械工学科	数学と物理学における基礎的な理解力・応用力と、これらに基づいた機械工学の最も基礎的・普遍的な専門知識と概念を修得させるとともに、各種機械の設計・製作・評価・管理に関する学術分野の教育を行い、主として力学・制御、エネルギー・流体、生産プロセス及び工学設計の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。
電気システム工学科	地球規模で持続可能な電気エネルギーシステムと、電気を有効に利用した快適な社会環境を確立するため、電気工学を基盤とする学術分野の教育を行い、主として、電力・設備システム、電機・制御システム、電気情報システムにおける各領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
電子情報工学科	現代産業の根幹を担う分野がエレクトロニクスを中心とした電子情報工学であると言っても過言ではない。通信、情報処理、電子デバイス、電子情報応用の学術分野の教育を行い、主として電子情報工学の基礎と応用、自然環境や人類の福祉、情報化社会への対応、能動的な行動力と問題解決、国際化への対応の領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
都市建設工学科	土木工学を基盤として、人間が生活する上で安心・安全かつ快適な社会基盤の整備や持続発展可能な地球環境の開発・保全に関する学術分野の教育を行い、主として、計画、設計、施工、管理などの専門的又は実務的な領域の知識・能力を修得した有能な人間を育成する。
建築学科	建築は機能を満たし、安全、快適で美しさが求められる。歴史、都市、社会との関わりを基礎に、空間創造のための建築デザイン、安全な建築を造るための材料と構造、建築内外の環境の学術分野の教育を行う。そして、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画の領域の知識を修得し、デザイン能力があり、人間の幸福を実現できる有能な人間を育成する。
応用化学科	物質の変化に関する化学の基礎的概念を理解させ、これに基づいた化学の専門知識を修得させるとともに、化学計測、無機・有機及びナノ複合材料、エネルギー、環境に関する学術分野の教育を行い、主として環境化学、物理化学、無機化学、有機化学及び化学工学の領域の知識・能力を身につけた有能な人間を育成する。
情報工学科	情報工学の技術と知識の基礎を身につけ、システムモデルを構築する能力を伸ばすための教育を行い、主としてソフトウェア、通信ネットワーク、ハードウェア、システム制御に関する知識・

	能力を修得した有能な人間を育成する。
経営情報学部	豊かな教養、自立心と公益心とともに、企業経営と情報技術に関する基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、自ら学び続ける能力を身につけ、広く国際的視野から物事を考え実行する専門職業人/有識社会人となる有為の人間を育成する。
経営情報学科	<p>社会における企業経営の現状と企業活動の仕組みを把握し、組織における情報の本質と意味及び情報システムの果たす役割を理解し、会計情報や情報技術を活用して、将来以下のような人材として社会に役立つ人間を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業会計の仕組みを理解した上で、企業活動の成果を定量的に分析し、データベースなどの情報技術を効果的に活用できる、会計に精通した人間。 2. 組織を構成する各部署の役割を把握し、それをもとに各部署あるいは部署間のコンピュータシステムを設計・維持・改良を行える人間。 3. 情報技術を駆使して情報収集・分析を的確に行うことができ、戦略策定など、企業活動の中核を担う人間。
経営学科	<p>経営、経済、法律、会計、情報等の諸分野にわたる基本的な考え方、知識、スキルを修得し、自立心、公益意識、広い視野から物事を考える力、行動力を備えて、将来以下のような人材として社会に役立つ人間を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報化社会において、企業等の組織的活動を発展に導くとともに社会的貢献の実現にも努める経営者。 2. 情報化社会における企業等の組織的活動において、自らの社会的価値観に立ちながら、経営者の構想と方針を理解し、専門的能力を活用してその実現に貢献する人間。 3. 情報化社会において、企業等の組織的活動を、社会的な立場から望ましい方向に導く有識者。
国際関係学部	社会科学並びに人文科学の立場から、国際関係・国際文化の動向・諸要因を政治・経済・社会・文化等の諸分野について総合的・包括的、グローバルかつローカルな視点から考察し、国際化する社会のさまざまな現場で、実際に活躍できる有為の人間を育成する。
国際関係学科	国際社会の政治・経済現象を社会科学の立場を中心として考察し、国際社会の動向や諸要因の分析、国際開発や政策研究等の諸問題を総合的・包括的に教育研究して、国際的な知識・視野を備え、幅広く社会で活躍できる人間を育成する。
国際文化学科	国際社会の社会・文化現象を人文科学の立場を中心として考察し、人類の多様な文化的価値の解明、多文化理解やコミュニケーション能力の向上等、国際的な知識・視野を備え、幅広く社会で活躍できる人間を育成する。
中国語中国関係学科	中国語による十分なコミュニケーション能力を身に付けた上で、中国の経済・社会・政治・文化や日中関係など、国際社会の中で中国が取り結ぶ諸関係についての知識・視野を備え、この分野を中心として幅広く社会で活躍できる人間を育成する。

人文学部	人間の言語、心理、社会・文化、歴史などの事象や活動を対象とする最先端の研究成果を提供し、教育の課程を通じて、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人格を育成する。
日本語日本文化学科	世界の中の日本という視点から、日本語や日本文化を深く理解し、国際社会の中での日本文化の意義を探究し、あわせてそのための読解力、思考力、表現力の練磨をとおして教養ある社会人を育成する。
英語英米文化学科	高度な英語運用能力を養い、英語圏の言語、社会・文化に対する深くて確かな知識と理解力をもち、積極的に国際社会に参加できる逞しい人間を育成する。
コミュニケーション学科	現代のメディア・コミュニケーションについての理論と実践的技術を学び、情報の収集、吟味、加工・編集、発信のプロセスを深く理解し、高度情報社会で自立的な判断ができる人間を育成する。
心理学科	基礎的な研究方法や技術を学び、認知、教育・文化、発達・社会、臨床などの各分野の専門知識を深く理解し、また統合し、こころの問題に対処できる力量をもった健全で成熟した社会人を育成する。
歴史地理学科	あらゆる事象や問題を「歴史的経緯」と「地理的視野」をあわせて統合的に考察・学習し、現代を生きてゆくために必要な深い洞察力と見識、歴史学的・地理学的センスを身につけた人間を育成する。
応用生物学部	現代の生物科学の爆発的な発展の状況を受け、21世紀のバイオ産業すなわち生物の機能を応用して人間生活に有用な物質生産や自然環境保全及び食育環境の向上を目的とする産業及び民政部门で活躍する職業人を育成する。
応用生物化学科	バイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、微生物や動植物の多様な生物機能の利用技術を支え、発展させるとともに、先端の生物科学の情報にも精通し、人類の生存に有用な手段を提供し、広くバイオ産業界で活躍しうる人間を育成する。
環境生物科学科	環境に関わるバイオサイエンスとバイオテクノロジーを基盤として、環境の状況を科学的に評価し、循環型社会の実現と地球環境問題を解決する能力のある人間を育成するとともに、あらゆる産業・社会分野において環境問題に極めて意識の高い職業人・技術者・社会人を育成する。
食品栄養科学科	最先端のバイオサイエンス、バイオテクノロジーに関する基礎教育を基盤として、現代の食を取り巻く種々の状況・問題を理解、解決するための知識や技術を習得し、食品産業界のみではなく、医薬品・健康産業や生物生産業など広い分野で活躍できる「食」のプロフェッショナルを育成する。
生命健康科学部	生活習慣病の拡大や感染症の増加など21世紀型の健康・医療に関する諸課題に対して、豊かな人間性とともに医学と生命科学の基礎を修得し、十分なバイオ・創薬・医用工学技術あるいは保健・看護学を基盤とした専門的技術を身につけて、学際的な新たな立場で対応できる有能な人間を育成することを通じて社会

	に貢献する。
生命医科学科	豊かな人間性の涵養教育及び医学と生命科学の基礎教育を徹底した上で、21世紀型の疾病と健康不安のしくみを解明し、これを予防し診断・治療するための薬物、資材、機器、技術を開発する研究者、技術者、並びに生活・職場環境を保健予防の視点で保全する専門家、並びに関連学問領域の教育研究者の候補を育成する。
保健看護学科	看護学の専門教育並びに医学と生命科学の基礎的教育を通じて、豊かな人間性を備え、人間の尊厳と権利を擁護でき、人々に信頼される実践力をもち、保健・医療・福祉チームにおいて、国際社会の動向を見据えたグローバルな視野でコラボレーション、リーダーシップを発揮できる看護師、保健師を育成する。
現代教育学部	次世代教育、特に、家庭、学校、地域社会における教育の重要性を基本とし、次代を担う乳幼児、児童の健全な育成を中心的課題として広く教育研究を行い、もって人格形成基盤を体系的に支援することができる優れた教育者、保育者を育成し、社会の期待と発展に寄与することを目的とする。
幼児教育学科	乳幼児と幼児期を対象として、人間形成の基盤作りを専門的に支援・指導する専門職業人を育成する。その基本的な教育目標は、幼稚園教諭1種免許と保育士の資格取得を可能とし、その資格・免許を基に複雑で変化の激しい環境の下で生じる個別的な課題の解決に向けて創造的に実践できる人間を育成する。
児童教育学科	就学以降から、12、3歳に至るまでの児童の成長発達、教育、支援について学際的に教育研究して、「次世代教育」のあり方についての理論と技能を修得し、小学校教諭、特別支援学校教諭一種免許の取得を可能とし、社会が求める多様な教育実践と教育支援活動を積極的に推進する人間を育成する。

別表2(第9条関係)

教 育 課 程

教養教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考
			1	2	3	4	5	6	7	8	
科目 総合	総合科目	2	2	(2)							注1
	総合科目ゼミナール	1	2	(2)							
ラシイ 情報リテ	コンピュータ入門	2	2								注1
	コンピュータ活用	2		2							
人文学分野	文章表現	2	2	(2)							全学部4単位以上取得すること。
	文学への招待	2	2	(2)							
	美術の思想と表現	2	2	(2)							
	音楽の表現と歴史	2	2	(2)							
	映像の世界	2	2	(2)							
	歴史に学ぶ	2	2	(2)							
	民族と文化	2	2	(2)							
	教育をみつめて	2	2	(2)							
	哲学の世界	2	2	(2)							
	論理の世界	2	2	(2)							
	総合芸術論A	2	2	(2)							
	総合芸術論B	2	2	(2)							
	人文学分野ゼミナール	1	2	(2)							
	社会科学分野	社会システム論	2	2	(2)						
心の科学		2	2	(2)							
生活環境と人間		2	2	(2)							
日本の憲法		2	2	(2)							
現代社会と法律		2	2	(2)							
政治の世界		2	2	(2)							
現代の経済		2	2	(2)							
社会の中の企業経営		2	2	(2)							
社会科学分野ゼミナール		1	2	(2)							
自然科学分野	数学の考え方	2	2	(2)							全学部4単位以上取得すること。
	数理科学	2	2	(2)							
	統計の手法	2	2	(2)							
	物理の世界	2	2	(2)							
	化学の世界	2	2	(2)							

自然科学分野	地球の科学A	2	2	(2)						
	地球の科学B	2	2	(2)						
	生物科学	2	2	(2)						
	科学技術史	2	2	(2)						
	地球環境論	2	2	(2)						
	化学と環境	2	2	(2)						
	自然科学分野ゼミナール	1	2	(2)						
健康とスポーツ	健康教育論	2			2	(2)				全学部1単位以上取得すること。 注2(集中) 注2 指定された者のみ履修できる。
	身体運動の科学	2			2	(2)				
	健康科学		2	(2)						
	基礎スポーツ	1			2					
	スポーツ	1				2				
	生涯スポーツ	1			2	(2)				
	自然とスポーツ	1		2						
	健康とスポーツゼミナール	1			2	(2)				
	スポーツ活動A	1	2							
	スポーツ活動B	1		2						
	スポーツ活動C	1	2							
	スポーツ活動D	1		2						
	スポーツ活動E	1	2							
	スポーツ活動F	1		2						
スポーツ活動G	1	2								
スポーツ活動H	1		2							
外国語	英語	フレッシュマン英語A	1	2						全学部外国語4単位以上(英語4単位を含む。)取得すること。 ただし、人文学部英語英米文化学科は、英語以外の言語から4単位以上取得すること。
		フレッシュマン英語B	1		2					
		留学英語A	1	2						
		留学英語B	1		2					
		総合英語A	1			2				
		総合英語B	1				2			
		英会話A	1			2				
		英会話B	1				2			
		資格英語A	1			2				
		資格英語B	1				2			
		情報英語A	1			2				
		情報英語B	1				2			
		科学英語A	1			2				
科学英語B	1				2					

外国語	英語	海外英語研修	2		4					注2(夏期集中)
		パセオアカデミック L & S A	2	4						
		パセオアカデミック L & S B	2		4					
		パセオアカデミック R & W A	2	4						
		パセオアカデミック R & W B	2		4					
		パセオコンテンツA	1	2	(2)					
		パセオコンテンツB	1	2	(2)					
		ドイツ語	入門ドイツ語	1	2					
	入門ドイツ語		1		2					
	総合ドイツ語A		1			2				
	総合ドイツ語B		1				2			
	フランス語	入門フランス語	1	2						
		入門フランス語	1		2					
		総合フランス語A	1			2				
		総合フランス語B	1				2			
	中国語	入門中国語	1	2						
		入門中国語	1		2					
		総合中国語A	1			2				
		総合中国語B	1				2			
	スペイン語	入門スペイン語	1	2						
入門スペイン語		1		2						
総合スペイン語A		1			2					
総合スペイン語B		1				2				

- ・ 注1 「総合科目」は、工学部都市建設工学科並びに「コンピュータ入門」は、工学部都市建設工学科及び建築学科にあつては、必修科目。
- ・ 注2 「自然とスポーツ」、「スポーツ活動A」、「スポーツ活動B」、「スポーツ活動C」、「スポーツ活動D」、「スポーツ活動E」、「スポーツ活動F」、「スポーツ活動G」、「スポーツ活動H」及び「海外英語研修」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 新入生の 期については、所属の学部、学科が指定した教養教育科目のみ受講できる。

工学部 機械工学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部 共通科目	数学	基礎数学	2	4									注1 注1
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								
		微積分学		4	(4)								
		微積分学セミナー	1		2								
		微積分学			4	(4)							
		線形代数		2									
		線形代数	2		2								
		ベクトル解析	2		2								
		微分方程式	2			2							
		複素変数関数論	2				2						
		応用数学	2				2						
		統計学	2		2								
物理学		基礎物理学	2	2	(2)								
		物理学A	2	2	(2)								
		物理学B	2		2	(2)							
		物理学C	2		2	(2)							
		物理学D	2			2	(2)						
化学		化学実験	1			3							
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2		2								
生物		生物工学概論	2				2						
工学 基礎 実験		工学基礎実験		3									
		工学基礎実験	2		3								
		応用実験A	1			3							
		応用実験B	1				3						
図形 科学		図学	2	2	(2)								
		図形処理	1			2	(2)						
情報 処理		情報処理システム概 論	2		2	(2)							
		コンピュータ・プログ ラミング	3	4	(4)	(4)							
		応用プログラミング	2			2	(2)						
		メディア表現法	2					2	(2)				

管理工学	システム工学	2			2	(2)					
	環境工学	2			2	(2)					
	生産管理	2					2	(2)			
	品質管理	2					2	(2)			
	工場管理	2					2	(2)			
	安全工学	2					2	(2)			
	工学倫理	2					2	(2)			
	ハンチャー・ビジネス論	2		2	(2)						
	創成工学	2	4								
	先端CAE実習	1					2	(2)			注1、注2 夏季集中 講義、受講生数 制限あり
専門科目	機械工学基礎	1	2								
	工業力学			2							
	工業力学演習			2							
力学 制御分野	材料力学A				2						
	材料力学A演習				2						
	材料力学B					2					
	材料力学C	2					2				
	機械力学A				2						
	機械力学B	2				2					
	制御工学A					2					
	制御工学B	2					2				
	計測工学	2			2						
	ロボット工学	2						2			
工業 流体分野	工業熱力学						2				
	工業熱力学演習						2				
	伝熱工学	2						2			
	エネルギー変換	2						2			
	水力学					2					
	水力学演習					2					
	流体工学	2					2				
	流体機械	2						2			
生産 プロセス分野	機械材料学A			2							
	機械材料学B	2			2						
	機械材料学C	2				2					
	生産化学A				2						
	生産化学B	2				2					
	生産化学C	2					2				

メカトロ基礎	電子計算機応用	2		2						
	電気回路	2				2				
	電子応用機器	2					2			
工学設計	機械製図A			3						
	機械製図B				3					
	機構学	2		2						
	機械設計A					2				
	機械設計B						2			
	CAD製図					3				
	機械設計製図A						3			
	機械設計製図B	1						3		
	CAD/CAM	1					2			受講生制限あり
	コンピュータ応用工学	1						2		受講生制限あり
総合機械工学	機械創成実習A		3							
	機械創成実習B			3						
	機械創成実験A				3					
	機械創成実験B					3				
	機械創成実験C	2					4			受講生制限あり
	創造工学演習	1						2		受講生制限あり
	機械工学インターンシップ	2					6			*注1,注2
	先端機械工学A	2							2	
	先端機械工学B	1							1	注1,注4
	総合機械工学	1					1			夏期集中講義 注1
	自動車工学	2					2			夏期集中講義
	工作機械	2						2		
	機械工学技術英語A	1					2			
機械工学技術英語B	1						2			
卒業研究								4	4	

・「工業力学」、「工業力学演習」、「材料力学A」、「材料力学A演習」、「機械力学A」、「水力学」、「水力学演習」、「工業熱力学」及び「工業熱力学演習」は習熟度別クラスで講義を行う。なお、「工業力学」と「工業力学演習」、「材料力学A」と「材料力学A演習」、「水力学」と「水力学演習」、「工業熱力学」と「工業熱力学演習」はそれぞれ必ず同時に受講すること。

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」、「機械工学インターンシップ」、「先端機械工学B」及び「総合機械工学」は履修単位の上限には含まない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 注3 夏季休業中に受け入れ企業等で行う学外実習(この単位数は履修単位の上限に含めない。)
- ・ 注4 夏季休業等を利用して、特定の高度な内容について集中的に講義を行う(この単位数は履修単位の上限に含めない)。実施時期、講義内容、講師等は掲示し、受講者を募集する。受講者が多い場合は、受講者を制限する場合もある。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

履修順序(下記の科目については、それぞれの条件を充足することが必要である。)

- 基礎数学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 微分積分学Ⅰ : 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
- 微分方程式 : 微分積分学 の履修
- 基礎物理学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 物理学A : 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修
- 応用実験A : 工学基礎実験 の履修
- 応用実験B : 工学基礎実験 の履修

工学部 電気システム工学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部共通科目	数学	基礎数学	2	4									
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								注1
		微分積分学		4	(4)								
		微積分学セミナー	1		2								注1
		微分積分学			4	(4)							
		線形代数		2									
		線形代数	2		2								
		ベクトル解析			2								
		微分方程式	2			2							
		複素変数関数論	2				2						
		応用数学	2				2						
		統計学	2		2								
物理学		基礎物理学	2	2	(2)								
		物理学A	2	2	(2)								
		物理学B	2		2	(2)							
		物理学C	2		2	(2)							
		物理学D	2			2	(2)						
化学		化学実験	1			3	(3)						
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2		2								
生物		生物工学概論	2					2	(2)				
工学基礎実験		工学基礎実験		3									
		工学基礎実験			3								
		応用実験A	1			3							
		応用実験B	1				3						
図形科学		図学	2	2	(2)								
		図形処理	1			2	(2)						
情報処理		情報処理システム概論			2	(2)							
		コンピュータ・プログラミング	3	4	(4)	(4)							
		応用プログラミング	2			2	(2)						
		メディア表現法	2					2	(2)				

工学部 共通科目	管理工学	システム工学	2			2	(2)					
		環境工学	2			2	(2)					
		生産管理	2					2	(2)			
		品質管理	2					2	(2)			
		工場管理	2					2	(2)			
		安全工学	2					2	(2)			
		工学倫理	2					2	(2)			
		パンチャービジネス論	2		2	(2)						
		創成工学	2	4								
		先端CAE実習	1					2	(2)			注1, 注2 夏季集中 講義、受講生数 制限あり

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1		2		3		4			
			1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	電気基礎学	電気工学入門	2									
		電気数学演習A	2									
		電気数学演習B	2									
		電気磁気学	2									
		電気磁気学		2								
		電気磁気学			4							
		電気回路 A	2									
		電気回路 B		2								
		電気回路			4							
		電気回路	2				2					
計測制御システム	電気計測				2							
	電気計測	2				2						
	自動制御	2					2					
	自動制御	2						2				
	工業計測システム	2							2			
	シーケンス工学	2								2		
電気材料学	電気電子材料				2							
	電気電子物性	2				2						
	半導体工学	2						2				
	電気エネルギー変換機器					2						

電機システム	電気エネルギー変換機器	2				2				
	パワーエレクトロニクスA	2				2				
	パワーエレクトロニクスB	2					2			
	電動車輛システム	2					2			
	電動産業応用システム	2						2		
	電気設計及び製図	2						4		
電力システム	電力工学				2					
	放電・絶縁工学	2				2				
	新エネルギーシステム	2					2			
	電力システム工学	2					2			
	電力応用システム	2					2			
	電力設備システム	2						2		
	電気化学	2					2			
	電気法規及び施設管理	2				2				
電子情報システム	電子デバイス				2					
	電子回路A					2				
	電子回路B	2					2			
	通信システムA	2						2		
	通信システムB	2							2	
	コンピュータ演習		2							
	ソフトウェア工学A	2			2					
	ソフトウェア工学B	2				2				
	コンピュータハードウェア	2		2						
	コンピュータ制御演習	1				2				
実験演習等	電気工学実験 A			3						
	電気工学実験 B				3					
	電気工学実験 A					3				
	電気工学実験 B						3			
	電気工学応用実験 A							3		
	電気工学応用実験 B								3	
	電気工学実習	2				6				
										注1、 集中

ゼミナールA	1						2			
ゼミナールB	1						2			
機械工学概論B	2						2			
電気技術英語	1							2		
卒業研究								4	4	

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」及び「電気工学実習」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・ 「電気工学実習」は企業実習を夏休み中に行うものである。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

履修順序（下記科目の履修については、それぞれの条件を充足することが必要である。）

基礎数学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。

微分積分学 : 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修

微分方程式 : 微分積分学 の履修

基礎物理学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。

物理学 A : 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修

応用実験 A : 工学基礎実験 の履修

応用実験 B : 工学基礎実験 の履修

電気回路 : 電気回路 A 及び電気回路 B の履修

電気工学実験 A : 電気工学実験 A 及び電気工学実験 B の履修

電気工学実験 B : 電気工学実験 A 及び電気工学実験 B の履修

工学部 都市建設工学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部 共通科目	数学	基礎数学	2	4									
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								注1
		微分積分学	3	4	(4)								*1
		微積分学セミナー	1	2									注1
		微分積分学	3	4	(4)								
		線形代数	2	2									*1
		線形代数	2	2									
		ベクトル解析	2	2									
		微分方程式	2		2								
		複素変数関数論	2			2							
		応用数学	2			2							
	統計学	2	2										
物理学		基礎物理学	2	2	(2)								*1
		物理学A	2	2	(2)								*1
		物理学B	2	2	(2)								
		物理学C	2	2	(2)								
		物理学D	2		2	(2)							
化学		化学実験	1		3	(3)							
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2	2									
生物学	生物工学概論	2					2	(2)					
工学 基礎 実験		工学基礎実験	2	3									*1
		工学基礎実験	2	3									
		応用実験A	1		3								
		応用実験B	1			3							
図形 科学		図学	2	2	(2)								*1
		図形処理	1		2	(2)							
情報 処理		情報処理システム概 論	2	2	(2)								
		コンピュータ・プログ ラミング	3	4	(4)	(4)							*1
		応用プログラミング	2		2	(2)							
		メディア表現法	2				2	(2)					

管理工学	システム工学	2			2	(2)					
	環境工学	2			2	(2)					
	生産管理	2					2	(2)			
	品質管理	2					2	(2)			
	工場管理	2					2	(2)			
	安全工学	2					2	(2)			
	工学倫理	2					2	(2)			* 1
	パンチャービジネス論	2		2	(2)						
	創成工学	2	4								注1, 注2
	先端CAE実習	1					2	(2)			夏季集中 講義、受講生数 制限あり

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	建設基礎	2	2									
	建設基礎数学				2							注3
	建設応用数学					2						注3
	基本製図		3									注3
	測量学講義・実習			4								注3
	測量学講義・実習				4							注3
建設構造	建設材料実験			4							注3	
	土質実験					4					注3	
	構造力学			2								
	構造力学 演習				2							
	構造力学				2							
	構造力学 演習					2						
建設材料	応用構造力学	2					2				* 2	
	鋼構造設計学	2						2			* 2	
	建設材料学		2									
	コンクリート工学					2						
都市水工	コンクリート工学						2				* 2	
	コンクリート工学 演習	1						2			* 2	
	コンクリート構造 設計学	2							2		* 2	
都市水工	水理学			2								
	水理学				2							
	水工実験・演習	2					4				注3	
	河川工学	2				2					* 2	

	海岸工学	2					2			* 2
	水道工学	2						2		* 2
地盤 防災	土の力学			2						
	土の力学				2					
	土の力学演習				2					
	地盤工学	2					2			* 2
	地盤設計学	2						2		
都市 環境	社会資本計画	2		2						* 2
	環境計画プロセス	2			2					* 2
	道路交通工学	2			2					* 2
	都市交通計画	2				2				* 2
	都市景観デザイン	2					2			
	都市計画	2						2		
	建設環境工学	2			2					
	都市防災工学	2				2				
	緑地工学	2							2	
	建設 一般	建設工学入門		2						
総合学習プロジェクト		3		4						
社会ゼミナール						2				
応用測量実習		1			3					注1、 夏季集中
建設技術英語 A		1			2					* 2
建設技術英語 B		1				2				* 2
建設情報処理演習		1						2		
施工法		2					2			* 2
社会実習		2					6			注1、 3年次夏季 休業期間中
総合講義							2			
特別講義		1						2		
部門創成 A		2					4			* 2
部門創成 B								4		
機械工学概論		2						2		
電気工学概論		2						2		
建築学概論		2						2		
卒業研究								4	4	

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」、「応用測量実習」及び「社会実習」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。

- ・ 注3 以下の科目は、他学部・他学科の履修者には次の制限を設ける。

測量学講義・実習	20人まで
* 測量学講義・実習	20人まで
基本製図	20人まで
建設材料実験	10人まで
土質実験	10人まで
水工実験・実習	20人まで

ただし、履修順序規定は適用する。（*印の科目）

- ・ 新入生の第 1 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・ 備考欄の * 1 の科目は選択必修科目であり、全 6 科目のうちから 7 単位以上単位取得しなければならない。
- ・ 備考欄の * 2 の科目は選択必修科目であり、全 17 科目のうちから 12 単位以上単位取得しなければならない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

履修順序(下記科目の履修については、それぞれの条件を充足することが必要である。)

基礎数学	: 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
微分積分学	: 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
微分方程式	: 微分積分学 の履修
基礎物理学	: 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
物理学 A	: 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修
応用実験 A	: 工学基礎実験 の履修
応用実験 B	: 工学基礎実験 の履修
応用測量実習	: 測量学講義・実習 の履修
応用構造力学	: 構造力学 の履修
鋼構造設計学	: 構造力学 の履修
コンクリート構造設計学	: コンクリート工学 の履修

工学部 建築学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部共通科目	数学	基礎数学	2	4									注1 注1
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								
		微分積分学		4	(4)								
		微積分学セミナー	1		2								
		微分積分学	3		4	(4)							
		線形代数	2	2									
		線形代数	2		2								
		ベクトル解析	2		2								
		微分方程式	2			2							
		複素変数関数論	2				2						
		応用数学	2				2						
		統計学	2		2								
物理学		基礎物理学	2	2	(2)								
		物理学A	2	2	(2)								
		物理学B	2		2	(2)							
		物理学C	2		2	(2)							
		物理学D	2			2	(2)						
化学		化学実験	1			3	(3)						
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2		2								
生	生物学	2					2	(2)					
工学基礎実験		工学基礎実験	2	3									
		工学基礎実験	2		3								
		応用実験A	1			3							
		応用実験B	1				3						
図形科学		図学	2	2	(2)								
		図形処理	1			2	(2)						
情報処理		情報処理システム概論	2		2	(2)							
		コンピュータ・プログラミング	3	4	(4)	(4)							
		応用プログラミング	2			2	(2)						
		メディア表現法	2					2	(2)				

管理工学	システム工学	2			2	(2)					
	環境工学	2			2	(2)					
	生産管理	2					2	(2)			
	品質管理	2					2	(2)			
	工場管理	2					2	(2)			
	安全工学	2					2	(2)			
	工学倫理	2	2								
	ハンチャービジネス論	2		2	(2)						
創成工学	2	4									
先端CAE実習	1					2	(2)			注1、注2 夏季集中 講義、受講生数 制限あり	

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	建築計画A			2								*1選択必修 *2選択必修
	建築計画B				2							
	建築計画C	2					2					
	都市計画						2					
	建築・都市計画演習	2						4				
	ハウジング	2						2				
	景観造園学	2						2				
	構造力学			2								
構造力学				2								
構造力学					2							
構造力学	2					2						
構造設計A					2							
構造設計B						2						
構造設計C	2						2					
構造力学演習					2							
構造計画演習	2							4				
建築材料 施工	建築構造法		2									*1選択必修
	建築構造法	2		2								
	建築材料					2						
	建築材料	2					2					
	建築生産概論				2							
	建築施工計画						2					

インターンシップA	1					2					注1、
建築自主活動A	2										注1、
建築自主活動B	2										注3
卒業研究									4	4	注1、 注3

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」、「インターンシップA」、「建築自主活動A」及び「建築自主活動B」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 注3 建築に関する学生の自主的活動に対して、学科会議で審査の上、認定する科目である。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・ 備考欄の* 1の「建築計画C」、「構造力学」、「建築材料」及び「建築環境システムB」は選択必修科目であり、1つ以上を選択し単位取得をしなければならない。
- ・ 備考欄の* 2「建築・都市計画演習」、「建築構造計画・演習」、「建築材料実験」、「建築環境システム演習」及び「建築デザイン」は選択必修科目であり、1つ以上を選択し単位取得しなければならない。
- ・ 備考欄の* 3の「建築デザイン基礎A」及び「建築デザイン基礎B」は選択必修科目であり、いずれか1つを選択し単位取得しなければならない。
- ・ 備考欄の* 4の「建築と社会A」「建築と社会B」及び「建築と社会C」は選択必修科目であり、2つ以上を選択し単位取得しなければならない。
- ・ 備考欄の* 5の「建築詳論A・B」は大学院進学希望者を対象とし、英語文献輪読を含む。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

履修順序（下記科目の履修については、それぞれの条件を充足することが必要である。）

- 基礎数学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 微積分学 : 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
- 微分方程式 : 微積分学 の履修
- 基礎物理学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 物理学A : 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修
- 応用実験A : 工学基礎実験 の履修

応用実験 B : 工学基礎実験 の履修
構造力学演習 : 構造力学 ・ の履修

工学部 電子情報工学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部 共通科目	数学	基礎数学	2	4									
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								注1
		微積分学	3	4	(4)								*1
		微積分学セミナー	1		2								注1
		微積分学	3		4	(4)							*1
		線形代数	2	2									*1
		線形代数	2		2								
		ベクトル解析	2		2								*1
		微分方程式	2			2							*1
		複素変数関数論	2				2						
		応用数学	2				2						
		統計学	2		2								
物理学		基礎物理学	2	2	(2)								
		物理学A	2	2	(2)								
		物理学B	2		2	(2)							
		物理学C	2		2	(2)							
		物理学D	2			2	(2)						
化学		化学実験	1			3	(3)						
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2		2								
生物学		生物工学概論	2					2	(2)				
工学 基礎 実験		工学基礎実験		3									
		工学基礎実験			3								
		応用実験A	1			3							
		応用実験B	1				3						
図形 科学		図学	2	2	(2)								
		図形処理	1			2	(2)						
情報 処理		情報処理システム概 論	2		2	(2)							
		コンピュータ・プログ ラミング	3	4	(4)	(4)							
		応用プログラミング	2			2	(2)						
		メディア表現法	2					2	(2)				

管理工学	システム工学	2			2	(2)					
	環境工学	2			2	(2)					
	生産管理	2					2	(2)			
	品質管理	2					2	(2)			
	工場管理	2					2	(2)			
	安全工学	2					2	(2)			
	工学倫理	2					2	(2)			
	ハンチャー・ビジネス論	2		2	(2)						注1、 注2 夏季集中 講義、受講生 数制限あり
	創成工学	2	4								
	先端CAE実習	1					2	(2)			

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	電子情報工学入門		2										
	電気数学	2	2										* 2
	電磁気学	3		4									* 2
	電磁気学	3			4								* 2
	量子電子物理	2				2							
	電気計測	2			2								* 2
	デジタル計測	2					2						
	情報基礎	2	2										* 2
	情報基礎	2		2									* 2
	電気回路	3		4									* 2
	電気回路	3			4								* 2
	電子回路基礎	2				2							* 2
	アナログ電子回路	2					2						
	数値計算法	2				2							
	デジタル電子回路	2					2						
通信工学	電磁波工学	2				2							* 4
	通信方式							2					* 4
	ワイヤレス通信	2						2					
	通信ネットワーク	2							2				
	通信法規	2								2			
電子デバイス	電気・電子材料	2				2							
	半導体工学	2						2					

	光・電子デバイス工 学	2					2				
	レーザ・プラズマ工 学	2						2			
情報シ ステム	情報処理工学	2			2						
	ソフトウェア工学	2				2					
	プログラミング言語	3			4						
	電子計算機工学	2					2				
	デジタル信号処理	2					2				
	情報社会のシステ ム	2						2			
電子情 報工 学一 般	電子情報工学実験 A				3	(3)				注5	
	電子情報工学実験 B				3	(3)				注5	
	電子情報工学実験 A						3	(3)		注5	
	電子情報工学実験 B						3	(3)		注5	
	電子情報工学実験								3		
	創成実験	1						3			
	創成ゼミナール	1				2					
	電子情報工学演習 A	1					2				
	電子情報工学演習 B	1						2			
	電子情報技術英語	1							2		
	自動制御	2					2				
	パワーエレクトロニ クス	2						2			
	電気機器通論	2					2				
	電子情報インター シップ	2					6			注1	
	特別講義	1						1	(1)		注1、 注3
	卒業研究								4	4	注4

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」、「電子情報インターシップ」、「特別講義A」及び「特別講義B」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 注3 夏季休暇等を利用して、特定の内容について講義を行う。実施時期、講義内容、

講師等は掲示し、受講者を募集する。受講希望者が多い場合は、受講者の選別を行うときもある。

- ・ 注4 卒業研究は通年科目であり、同一年度内の春学期（7期）・秋学期（8期）を通した履修が必要となる。
- ・ 注5 クラスにより開講期が異なる。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の支持によること。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部、他学科の学生は履修することができない。
- ・ 備考欄の * 1、* 2 の科目は選択必修科目であり、それぞれ以下のとおり単位取得しなければならない。
 - 1) * 1 の科目は、全 5 科目のうちから 9 単位以上
 - 2) * 2 の科目は、全 9 科目のうちから 17 単位以上

履修順序(下記科目の履修については、それぞれの条件を充足することが必要である。)

基礎数学	: 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
微分積分学	: 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
微分方程式	: 微分積分学 の履修
応用実験 A	: 工学基礎実験 の履修
応用実験 B	: 工学基礎実験 の履修
電子情報工学実験 A	: 電子情報工学実験 A 及び B の履修
電子情報工学実験 B	: 電子情報工学実験 A 及び B の履修
電子情報工学実験	: 電子情報工学実験 A 及び B の履修

工学部 応用化学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
工学部 共通科目	数学	基礎数学	2	4									注1 注1
		基礎数学セミナー	1	2	(2)								
		微積分学	3	4	(4)								
		微積分学セミナー	1		2								
		微積分学	3		4	(4)							
		線形代数	2	2									
		線形代数	2		2								
		ベクトル解析	2		2								
		微分方程式	2			2							
		複素変数関数論	2				2						
		応用数学	2				2						
		統計学	2		2								
	物理学		基礎物理学	2	2	(2)							
		物理学A	2	2	(2)								
		物理学B	2		2	(2)							
		物理学C	2		2	(2)							
		物理学D	2			2	(2)						
化学		化学実験		3									
		一般化学A	2	2									
		一般化学B	2		2								
生物学		生物工学概論	2					2	(2)				
工学基礎実験		工学基礎実験	2	3									
		工学基礎実験	2		3								
		応用実験A	1			3							
		応用実験B	1				3						
図形科学		図学	2	2	(2)								
		図形処理	1			2	(2)						
情報処理		情報処理システム概論	2		2	(2)							
		コンピュータ・プログラミング	3	4	(4)	(4)							
		応用プログラミング	2			2	(2)						
		メディア表現法	2					2	(2)				

管理工学	システム工学	2			2	(2)					
	環境工学	2			2	(2)					
	生産管理	2					2	(2)			
	品質管理	2					2	(2)			
	工場管理	2					2	(2)			
	安全工学	2					2	(2)			
	工学倫理	2					2	(2)			
	ハンチャービジネス論	2		2	(2)						
	創成工学	2	4								
	先端CAE実習	1					2	(2)			注1、 注2 夏季集中 講義、受講生 数制限あり

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	基礎化学セミナー		2									
	応用化学入門		2									
	基礎分析化学			2								
	基礎無機化学			2								
	基礎有機化学			2								
	基礎物理化学				2							注3
	基礎化学工学				2							注3
	理論有機化学					2						注3
環境化学	分析化学	2			2							
	機器分析化学A	2					2					
	機器分析化学B	2						2				
	環境化学	2							2			
物理化学	物理化学A	2				2						
	物理化学B	2					2					
	物理化学演習	1					2					
	物性化学	2						2				
	電気化学	2							2			
無機プロセス化学	無機化学A	2			2							
	無機化学B	2				2						
	無機化学演習	1				2						
	材料化学A	2				2						
	材料化学B	2					2					
	無機プロセス化学	2						2				

	セラミック材料	2						2		
有機プロセス化学	有機化学A	2			2					
	有機化学B	2				2				
	有機化学演習	1			2					
	有機プロセス化学	2					2			
	高分子化学	2					2			
	生物有機化学	2					2			
有機フライン化学	有機合成化学A	2				2				
	有機合成化学B	2					2			
	有機合成化学演習	1						2		
	有機反応論A	2					2			
	有機反応論B	2						2		
化学工学	化学工学A	2				2				4
	化学工学B	2					2			
	化学工学演習	1						2		
	反応工学	2						2		
	プロセスシステム工学	2							2	
応用化学実験	分析化学実験			3						
	無機化学実験A				3					
	無機化学実験B					3				
	有機化学実験A				3					
	有機化学実験B					3				
	化学工学実験A						3			
	化学工学実験B	1						3		注4
	物理化学実験A				3					
	物理化学実験B					3				注4
	有機合成化学実験A						3			
	有機合成化学実験B	1						3		注4
	材料化学実験A						3			
材料化学実験B	1						3		注4	
応用化学一般	バイオテクノロジー	2						2		
	応用化学インターンシップA	1					1			注1、注5
	応用化学インターンシップB	1					3			注1、注5
	応用化学セミナー	1						2	(2)	注1、注4
	化学英語セミナーA	1						2	(2)	注4
	化学英語セミナーB	1						2	(2)	注6
	機械工学概論B	2						2		

	電気工学概論	2					2			
	自動制御	2						2		
	卒業研究							4	4	

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「創成工学」、「応用化学インターンシップA・B」及び「応用化学セミナー」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 注3 この科目はクラス別編成
- ・ 注4 この科目は応用化学総合コースの学生は単位を取得する必要がある。
- ・ 注5 この科目は原則として3年次夏季休暇中に実施されるインターンシップであり、その応募条件は別に定める。
- ・ 注6 この科目は原則として外部講師による集中講義
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部、他学科の学生は履修することができない。

履修順序(下記の科目については、それぞれの条件を充足することが必要である。)

- 基礎数学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 微分積分学 : 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
- 微分方程式 : 微分積分学 の履修
- 基礎物理学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 物理学A : 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修
- 応用実験A : 工学基礎実験 の履修
- 応用実験B : 工学基礎実験 の履修
- 無機化学実験A : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 無機化学実験B : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 有機化学実験A : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 有機化学実験B : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 化学工学実験A : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 化学工学実験B : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 物理化学実験A : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 物理化学実験B : 化学実験及び分析化学実験の履修
- 有機合成化学実験A : 化学実験及び分析化学実験の履修

有機合成化学実験 B : 化学実験及び分析化学実験の履修
材料化学実験 A : 化学実験及び分析化学実験の履修
材料化学実験 B : 化学実験及び分析化学実験の履修

工学部共通科目	管理工学	システム工学	2			2	(2)					
		環境工学	2			2	(2)					
		生産管理	2					2	(2)			
		品質管理	2					2	(2)			
		工場管理	2					2	(2)			
		安全工学	2					2	(2)			
		工学倫理	2					2	(2)			
		パンチャービジネス論	2		2	(2)						
		創成工学	2	4								
		先端CAE実習	1					2	(2)			注1、 注2 夏季集中 講義、受講生 数制限あり

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1		2		3		4				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	情報基礎学	情報数学		2									
		情報数学応用			2								
		データ構造とアルゴリズム				2							
		情報理論	2			2						*1	
		形式言語とオートマトン	2			2							
		計算論とプログラミング言語論	2					2				*1	
		オペレーションズ・リサーチ	2					2					
		デジタル信号処理						2					
		ソフトウェア	コンパイラ	2					2				
			ソフトウェア工学	2					2				
オペレーティングシステム	2					2					*1		
C言語応用				4									
オブジェクト指向言語	3						4						
数値解析				2									
数値解析	2					2							
情報応用学	データベース						2						
	音声情報処理	2						2					
	画像情報処理	2					2						

	コンピュータグラフィックス	2					2			
	知能情報工学	2						2		
情報システム	通信工学	2					2			
	ネットワークシステム	2						2		
ハードウェア	電気回路			2						
	アナログ電子回路				2					
	アナログ電子回路	2				2				
	デジタル電子回路				2					
	デジタル電子回路	2					2			
	計算機アーキテクチャ	2				2				*1
	電磁気学	2				2				
システム制御	センサと計測	2			2					
	システム制御工学					2				
	生体情報工学	2						2		
情報工学一般	創成A		2							
	創成B	1		3						*1
	創成C	1			3					*1
	創成D	1				3				*1
	情報処理演習		2							
	情報処理系技術者演習A	1				2				
	情報処理系技術者演習B	1					2			
	プログラム演習					3				
	情報工学実験						3			
	情報工学実験							3		
	情報技術英語	1				2				
	機械工学概論	2		2						
	ゼミナールA						2			
	ゼミナールB							2		
	企業情報システムと倫理	2						2		
	情報工学インターンシップ	2						6		注1、注4
自主研究	自主研究A	1			2					注1、注3

自主研究B	1				2					注1、 注3
自主研究C	1					2				注1、 注3
自主研究D	1						2			注1、 注3
卒業研究								4	4	

- ・ 注1 「基礎数学セミナー」、「微積分学セミナー」、「情報工学インターンシップ」、「創成工学」及び「自主研究のA、B、C、D」は履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 工学部以外の学生は履修することができない。
- ・ 注3 自主研究のA、B、C、Dは、学生が個人的に（又はグループで）特定の課題に対して一定の基準に達したと認められた場合に、学科会議での審査・承認過程を経た上で単位が与えられる認定科目である。なお、課題は、公募型と自己推薦型の2種類で構成するものとし、公募型は「第三者機関が開催する大会への取り組み」など情報工学科で指定する創成的課題としての取り組み参加を研究課題とするものであり、自己推薦型は学生の自主的な考えに基づく課題で、創成的取り組みであると学科会議が認めたものである。
- ・ 注4 夏季休業中に受入れ企業等で行う学外実習（この単位数は、履修単位の上限に含めない）
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部、他学科の学生は履修することができない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・ 備考欄の*1は履修が望ましい科目

履修順序(下記科目の履修については、それぞれの条件を充足することが必要である。)

- 基礎数学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 微分積分学 : 基礎数学を履修しなければならない者は、その履修
- 微分方程式 : 微分積分学 の履修
- 基礎物理学 : 指定された者は履修しなければならない。また、指定されない者は履修できない。
- 物理学A : 基礎物理学を履修しなければならない者は、その履修
- 応用実験A : 工学基礎実験 の履修
- 応用実験B : 工学基礎実験 の履修
- 電磁気学 : ベクトル解析の履修

・資格取得者に対する単位認定

次の資格のいずれかを取得した者には、卒業に必要な単位（情報処理系技術者演習 A 1 単位、情報処理系技術者演習 B 1 単位の合計 2 単位まで）として認定される。

初級システムアドミニストレータ

上級システムアドミニストレータ

基本情報技術者

経営情報学部 経営情報学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
学部共通科目	基礎演習A		2										
	基礎演習B			2									
	入門ゼミナールA	1			2								
	入門ゼミナールB	1				2							
	外書購読A	2			2								
	外書購読B	2				2							
	環境マネジメントシステム	2				2							
	特別講義A	2					2						
	特別講義B	2						2					
	インターンシップA	1					1					1	
	インターンシップB	2					6					集中	
	実践簿記	2										1	
	実践情報A	2										1	
	実践情報B	2										1	
											1	認定科目	
											1	認定科目	
											1	認定科目	
専門科目	経営	経営学入門		2									
		現代企業論				2							
		経営戦略論	2						2				
		経営史	2			2							
		日本経営史	2					2					
		中小企業経営	2				2						
		グローバルビジネス	2							2			
		中部経済と産業	2						2				
		組織行動論	2		2								
		組織論	2			2							
		人材マネジメント	2					2					
		キャリア開発	2							2			
		マーケティング論A			2								
		流通論	2							2			
		マーケティング論B	2							2			
	SCM入門	2					2						
会計	入門簿記		2										
	簿記原理												

	上級簿記論	2			2					
	株式会社社会計論	2				2				
	コンピュータ会計	2						2		
	財務会計論A				2					
	財務会計論B	2				2				
	国際会計論	2						2		
	経営分析論	2							2	
	監査論	2						2		
	会計情報システム論	2							2	
	ビジネス・シミュレーション	2							2	
	税務会計論	2							2	
	工業簿記論	2			2					
	原価計算論	2				2				
	管理会計論	2						2		
財務	証券投資	2							2	
	資金の調達と管理	2						2		
	投資決定論	2							2	
情報	コンピュータ科学	2	2							
	情報リテラシーA	2	2							
	情報リテラシーB			2						
	アルゴリズム入門	2	2							
	情報基礎数学	2		2						
	プログラミング言語A	4		4						1
	プログラミング言語B	4			4					1
	上級プログラミング	4			4					
	シミュレーション	2						2		
	情報管理論				2					
	情報システム論					2				
	情報化と経営	2			2					
	コンピュータ・アーキテクチャ	2				2				
	情報ネットワーク	2						2		
	確立・統計入門	2				2				
	情報社会と情報倫理	2							2	
	データベース	2						2		
	ネットワーク・プログラミング	2							2	
	マルチメディア	2						2		
	オペレーションズ・リサーチ	2							2	
Webデザイン	2						2			

	情報社会と情報論理	2						2			
経済	経済入門A		2	2							
	経済入門B	2									
	経済政策	2			2	2					
	産業経済論	2									
法律	経営法学入門		2								
	現代市民法	2		2							
	現代契約法	2			2						
	情報化社会と法	2					2				
演習等	特進ゼミナール	1		2							
	専門ゼミナール						2				
	専門ゼミナール							2			
	卒業研究								4	4	

- ・ 1 「実践簿記」、「実践情報A」、「実践情報B」、「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 備考欄に がある科目は、設備等の都合上、原則として他学部・他学科の学生が履修することができない。ただし、履修申告の事前に経営情報学科主任に申し出の上、了承された場合には受講できる。
 なお、他学部・他学科の学生は、いかなる場合も「卒業研究」を履修することはできない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

経営情報学部 経営学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
学部 共通 科目	基礎演習A		2									
	基礎演習B			2								
	入門ゼミナールA	1			2							
	入門ゼミナールB	1				2						
	外書購読A	2			2							
	外書購読B	2				2						
	環境マネジメントシステム	2				2						
	特別講義A	2					2					
	特別講義B	2						2				
	インターンシップA	1					2				1 集中	
	インターンシップB						6				1 夏季集中	
	実践簿記	2									1 認定科目	
	実践情報A	2									1 認定科目	
実践情報B	2									1 認定科目		
専門 科目	総合 経営	経営学入門		2								
		現代企業論				2						
		経営戦略論	2						2			
		経営史	2			2						
		日本経営史	2					2				
		中小企業経営	2				2					
		中小企業の経営革新	2					2				
		ベンチャービジネス	2						2			
		グローバルビジネス	2						2			
		中部経済と産業	2					2				
人 と 組 織	組織行動論		2									
	組織心理学	2					2					
	オーガニゼーション	2			2							
	組織とマネジメント	2				2						
	人材マネジメント	2					2					

	人材戦略	2						2			
	キャリア開発	2						2			
マ ケ テ ィ ン グ	マーケティング論A			2							
	広告論	2						2			
	流通論	2						2			
	マーケティング論B	2						2			
生 産 管 理	SCM入門	2					2				
	生産管理入門					2					
会 計	入門簿記		2								
	簿記原理			2							
	上級簿記論	2			2						
	株式会社会計論	2				2					
	財務会計論A				2						
	財務会計論B	2				2					
	経営分析論	2						2			
	税務会計論	2						2			
	工業簿記論	2			2						
	原価計算論	2				2					
管理会計論	2						2				
財 務	証券投資	2						2			
	資金の調達と管理	2					2				
	投資決定論	2						2			
情 報	情報リテラシーA	2	2								
	情報リテラシーB			2							
	データベース	2						2			
	プログラミング入門	4				4					
	シミュレーション	2					2				
	情報化と経営	2			2						
	確率・統計入門	2				2					
	Webデザイン	2					2				
	情報社会と情報倫理	2						2			
経 済 分 野	経済学入門A		2								
	経済学入門B	2		2							
	日本経済入門	2		2							
	経済政策	2			2						
	金融論	2			2						
	財政学	2				2					

	産業経済論	2				2					
	国際経済学	2					2				
	国際金融論	2					2				
法律分野	経営法学入門		2								
	現代市民法	2		2							
	現代企業法	2						2			
	現代契約法	2			2						
	情報化社会と法	2					2				
演習等	専門ゼミナール						2				
	専門ゼミナール							2			
	卒業研究								4	4	

- ・ 1 「実践簿記」、「実践情報A」、「実践情報B」、「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 備考欄に がある科目は、設備等の都合上、原則として他学部・他学科の学生が履修することができない。ただし、履修申告の事前に経営学科主任に申し出の上、了承された場合には受講できる。
 なお、他学部・他学科の学生は、いかなる場合も「卒業研究」を履修することはできない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

国際関係学部 国際関係学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
学部共通科目	国際関係入門A	2	2									6単位以上取得すること。
	国際関係入門B	2		2								
	地域研究入門A	2	2									
	地域研究入門B	2		2								
地域研究科目	東アジアを知るA	2			2						4単位以上取得すること。	
	東アジアを知るB	2				2						
	東アジアを知る	2			2							
	アフリカを知る	2				2						
	中東を知る	2				2						
	ヨーロッパを知る	2			2							
	ラテンアメリカを知る	2				2						
	北米を知るA	2			2							
	北米を知るB	2				2						
	地域研究特殊講義	2					2					
自由選択科目	政治学概論	2			2							
	法学概論	2				2						
	経済学概論	2			2							
	社会心理学	2					2					
	環境論	2						2				
	考古学	2			2							
	世界史概論	2				2						
	日本の歴史と文化	2			2							
	西洋思想史	2						2				
	西洋美術史	2					2					
	日本外交史	2						2				
	地誌A	2			2							
	地誌B	2				2						
	音声学	2			2							
	音韻論	2				2						
	比較言語学	2			2							
	社会言語学	2				2						
	日本語教授法A	2			2							
	日本語教授法B	2				2						
	日本語教授法C	2					2					
日本語教授法D	2						2					

		日本語教育実習	1						2		
学外実践科目		海外留学A	2			2					1
		海外留学B	2			2					1
		海外留学C	2			2					1
		海外留学D	2			2					1
		海外留学E	2			2					1
		海外留学F	2			2					1
		海外留学G	2			2					1
		フィールドワークA	1								2
		フィールドワークB	1								2
		フィールドワークC	1								2
		インターンシップA	1					1			3 集中
		インターンシップB	2					6			3
											夏季集中
	学科専門科目	地域言語科目	英語 A	2	4						
英語 B			2	4							
英語 A			2		4						
英語 B			2		4						
英語			2			4					
英語			2				4				
英語			2					4			
英語			2						4		
TOEIC入門			1		2						
TOEIC特講A			1					2			
TOEIC特講B			1						2		
外書購読A			1			2					
外書購読B			1				2				
中国語			2			4					
中国語			2				4				
中国語			2					4			
中国語			2						4		
ドイツ語			2			4					
ドイツ語			2				4				
ドイツ語			2					4			
ドイツ語			2						4		
フランス語			2			4					
フランス語			2				4				
フランス語	2					4					
フランス語	2						4				
スペイン語	2			4							
スペイン語	2				4						

	スペイン語	2				4				
	スペイン語	2					4			
	韓国語	2		4						
	韓国語	2			4					
	韓国語	2				4				
	韓国語	2					4			
	地域言語A	2		4						
	地域言語B	2			4					
	地域言語C	2				4				
	地域言語D	2					4			
学科基礎科目	国際関係論	2		2						8単位以上取得すること。
	国際政治入門	2	2							
	国際法入門	2		2						
	国際経済入門	2	2							
	国際協力入門	2	2							
	国際社会政策入門	2	2							
国際政治科目	国際政治学	2			2					18単位以上取得すること。国際政治科目・国際経済科目・国際開発協力科目のそれぞれから、4単位以上取得すること。 4
	国際政治史	2				2				
	国際法	2			2					
	国際機構	2					2			
	平和学	2				2				
	人間安全保障論	2					2			
国際経済科目	国際経済学	2			2					
	制度経済学	2				2				
	貿易論	2					2			
	開発経済学	2			2					
	国際金融論	2						2		
	国際経済史	2				2				
	計量経済学	2						2		
国際開発協力専攻科目	国際協力論	2			2					
	国際公共政策論	2			2					
	NGO / NPO論	2				2				
	社会開発論	2			2					
	地域開発論	2				2				
	環境と開発	2					2			
	ジェンダーと開発	2						2		
学科共通科目	国際関係特論A	2					2			
	国際関係特論B	2						2		

演習科目	基礎演習A		2							6単位取得 すること。
	基礎演習B			2						
	プレ演習A				2					
	プレ演習B					2				
	演習A						2			
	演習B							2		
	卒業研究							4	4	5

- ・ 1 海外への派遣留学及び認定留学専用の読替科目
- ・ 2 休業期間を利用して、海外でのボランティア活動や NGO のスタディツアー等に参加したり、言語など、本学で受けた教育の成果を現地で実践しつつ、意欲的な現地調査を実施した学生に対し、その成果報告書を評価する。事前に計画書を提出し、承認を受けなければならない。
- ・ 3 3年生のみ。「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 4 国際政治科目・国際経済科目・国際開発協力科目のうち、いずれか1つにつき10単位以上取得した場合、該当するプログラム（国際政治プログラム・国際経済プログラム・国際開発協力プログラム）を修了したのものとして、卒業時に国際関係学科が認定する。なお、複数のプログラムの修了・認定が可能である。
- ・ 5 卒業研究は通年科目であり、同一年度内の春学期（7期）・秋学期（8期）を通した履修が必要となる。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・ 新入生の第1期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に「」がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することはできない。

国際関係学部 国際文化学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
学部共通科目	国際関係入門A	2	2									6単位以上取得すること。
	国際関係入門B	2		2								
	地域研究入門A	2	2									
	地域研究入門B	2		2								
地域研究科目	東アジアを知るA	2			2							4単位以上取得すること。
	東アジアを知るB	2				2						
	東アジアを知る	2			2							
	アフリカを知る	2				2						
	中東を知る	2				2						
	ヨーロッパを知る	2			2							
	ラテンアメリカを知る	2				2						
	北米を知るA	2			2							
	北米を知るB	2				2						
	地域研究特殊講義	2					2					
自由選択科目	政治学概論	2			2							
	法学概論	2				2						
	経済学概論	2			2							
	社会心理学	2					2					
	環境論	2						2				
	考古学	2			2							
	世界史概論	2				2						
	日本の歴史と文化	2			2							
	西洋思想史	2						2				
	西洋美術史	2					2					
	日本外交史	2							2			
	地誌A	2			2							
	地誌B	2				2						
	音声学	2			2							
	音韻論	2				2						
	比較言語学	2			2							
	社会言語学	2				2						
	日本語教授法A	2			2							
	日本語教授法B	2				2						
	日本語教授法C	2					2					
日本語教授法D	2						2					

		日本語教育実習	1						2		
学外実践科目		海外留学A	2			2					1
		海外留学B	2			2					1
		海外留学C	2			2					1
		海外留学D	2			2					1
		海外留学E	2			2					1
		海外留学F	2			2					1
		海外留学G	2			2					1
		フィールドワークA	1								2
		フィールドワークB	1								2
		フィールドワークC	1								2
		インターンシップA	1					1			3 集中
		インターンシップB	2					6			3
											夏季集中
	学科専門科目	地域言語科目	英語 A	2	4						
英語 B			2	4							
英語 A			2		4						
英語 B			2		4						
英語			2			4					
英語			2				4				
英語			2					4			
英語			2						4		
TOEIC入門			1		2						
TOEIC特講A			1					2			
TOEIC特講B			1						2		
外書購読A			1			2					
外書購読B			1				2				
中国語			2			4					
中国語			2				4				
中国語			2					4			
中国語			2						4		
ドイツ語			2			4					
ドイツ語			2				4				
ドイツ語			2					4			
ドイツ語			2						4		
フランス語			2			4					
フランス語			2				4				
フランス語	2					4					
フランス語	2						4				
スペイン語	2			4							
スペイン語	2				4						

	スペイン語	2				4				
	スペイン語	2					4			
	韓国語	2		4						
	韓国語	2			4					
	韓国語	2				4				
	韓国語	2					4			
	地域言語A	2		4						
	地域言語B	2			4					
	地域言語C	2				4				
	地域言語D	2					4			
学科基礎科目	文化人類学入門		2							6単位以上取得すること。
	社会学入門		2							
	留学論	2	2							
	言語学入門	2		2						
	文化比較論	2		2						
学科基幹科目	文化人類学	2			2					6単位以上取得すること。
	フィールドワーク論	2				2				
	社会学	2			2					
	社会調査法	2				2				
	言語学	2			2					
	資料リサーチ法	2				2				
学科発展科目	宗教人類学	2					2			8単位以上取得すること。
	比較宗教学	2						2		
	博物館と文化	2					2			
	観光人類学	2						2		
	比較社会論	2					2			
	社会思想史	2						2		
	人間と環境	2					2			
	人文地理学	2						2		
	ヨーロッパ地域研究	2					2			
	南北アメリカ地域研究	2						2		
	アジア・オセアニア地域研究	2					2			
	中東・アフリカ地域研究	2						2		
	演習科目	基礎演習A		2						
基礎演習B				2						
研究入門A					2					
研究入門B						2				
演習A							2			
演習B								2		

	卒業研究								4	4	4
--	------	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

- ・ 1 海外への派遣留学及び認定留学専用の読替科目
- ・ 2 休業期間を利用して、海外でのボランティア活動や NGO のスタディツアー等に参加したり、言語など、本学で受けた教育の成果を現地で実践しつつ、意欲的な現地調査を実施した学生に対し、その成果報告書を評価する。事前に計画書を提出し、承認を受けなければならない。
- ・ 3 3年生のみ。「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 4 卒業研究は通年科目であり、同一年度内の春学期（7期）・秋学期（8期）を通した履修が必要となる。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・ 新入生の第 1 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することはできない。

国際関係学部 中国語中国関係学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
学部共通科目	国際関係入門A	2	2									6単位以上取得すること。
	国際関係入門B	2		2								
	地域研究入門A	2	2									
	地域研究入門B	2		2								
地域研究科目	東アジアを知るA	2			2						4単位以上取得すること。	
	東アジアを知るB	2				2						
	東アジアを知る	2			2							
	アフリカを知る	2				2						
	中東を知る	2				2						
	ヨーロッパを知る	2			2							
	ラテンアメリカを知る	2				2						
	北米を知るA	2			2							
	北米を知るB	2				2						
	地域研究特殊講義	2					2					
自由選択科目	政治学概論	2			2							
	法学概論	2				2						
	経済学概論	2			2							
	社会心理学	2					2					
	環境論	2						2				
	考古学	2			2							
	世界史概論	2				2						
	日本の歴史と文化	2			2							
	西洋思想史	2						2				
	西洋美術史	2					2					
	日本外交史	2						2				
	地誌A	2			2							
	地誌B	2				2						
	音声学	2			2							
	音韻論	2				2						
	比較言語学	2			2							
	社会言語学	2				2						
	日本語教授法A	2			2							
	日本語教授法B	2				2						
	日本語教授法C	2					2					
日本語教授法D	2						2					

		日本語教育実習	1						2		
学外実践科目		海外留学A	2			2					1
		海外留学B	2			2					1
		海外留学C	2			2					1
		海外留学D	2			2					1
		海外留学E	2			2					1
		海外留学F	2			2					1
		海外留学G	2			2					1
		フィールドワークA	1								2
		フィールドワークB	1								2
		フィールドワークC	1								2
		インターンシップA	1					1			3 集中
		インターンシップB	2					6			3
											夏季集中
	学科専門科目	学科基礎科目	中国研究入門A		2						
中国研究入門B					2						
文化人類学入門			2	2							
社会学入門			2	2							
国際政治学入門			2	2							
国際経済入門			2	2							
文化比較論			2		2						
言語学入門			2		2						
中国語コミュニケーション科目	中国語 A	2	4								26単位以上取得すること。
	中国語 B	2	4								
	中国語 A	2		4							
	中国語 B	2		4							
	中国語 A	2			4						
	中国語 B	2			4						
	中国語 A	2				4					
	中国語 B	2				4					
	中国語 A	2					4				
	中国語 B	2					4				
	中国語 A	2						4			
	中国語 B	2						4			
	中国語	2							4		
	中国語	2								4	
	ビジネス中国語A	2	4								
	ビジネス中国語B	2		4							
	資格中国語A				4						
	資格中国語B					4					

	上級中国語A					4				
	上級中国語B						4			
地域言語科目	地域言語A	2		4						
	地域言語B	2			4					
	地域言語C	2				4				
	地域言語D	2					4			
中国言語研究科目	中国語研究A	2		2						4単位以上取得すること。
	中国語研究B	2			2					
	中国言語文化研究A	2				2				
	中国言語文化研究B	2					2			
中国研究科目	中国政治論			2						10単位以上取得すること。
	中国国際関係研究	2			2					
	日中関係論	2				2				
	日中社会比較研究	2					2			
	中国経済論	2		2						
	中国経営論				2					
	中国ビジネス論A	2				2				
	中国ビジネス論B	2					2			
	中国歴史研究	2		2						
	中国文学研究	2			2					
	日中思想比較研究	2				2				
	日中環境論	2					2			
	中国社会研究特殊講義A	2					2			
	中国社会研究特殊講義B	2						2		
学外実践科目	留学中国語A		2							1
	留学中国語B		2							1
	留学中国語C		2							1
演習科目	基礎演習A		2							6単位取得すること。
	基礎演習B			2						
	研究入門A			2						
	研究入門B				2					
	演習A					2				
	演習B						2			
	卒業研究							4	4	4

- ・ 1 海外への派遣留学及び認定留学専用の読替科目
- ・ 2 休業期間を利用して、海外でのボランティア活動や NGO のスタディツアー等に参加

加したり、言語など、本学で受けた教育の成果を現地で実践しつつ、意欲的な現地調査を実施した学生に対し、その成果報告書を評価する。事前に計画書を提出し、承認を受けなければならない。

- ・ 3 3年生のみ。「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 4 卒業研究は通年科目であり、同一年度内の春学期（7期）・秋学期（8期）を通した履修が必要となる。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・ 新入生の第 1 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することはできない。

人文学部 日本語日本文化学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
基礎科目	言語文学コア	日本語学入門A	2	2								「入門」・「概論」の科目を12単位以上と、「講読」の科目を4単位以上取得すること。
		日本語学入門B	2		2							
		日本語学文献購読A	2		2							
		日本語学文献購読B	2			2						
		日本文学入門A	2	2								
		日本文学入門B	2		2							
		近現代文学講読A	2			2						
		近現代文学講読B	2				2					
		古典文学入門	2		2							
		古典文学講読A	2			2						
		古典文学講読B	2				2					
		日本語教育概論A	2		2							
	日本語教育概論B	2			2							
	日本文化コア	日本文化論入門A	2	2								
		日本文化論入門B	2		2							
		民俗学入門A	2	2								
		民俗学入門B	2		2							
		宗教学入門A	2	2								
		宗教学入門B	2		2							
		日本文化文献講読A	2			2						
		日本文化文献講読B	2				2					
		日本文化文献講読C	2			2						
日本文化文献講読D		2					2					
研究科目	言語文学コア	日本語講義A	2		2						10単位以上取得すること。	
		日本語講義B	2			2						
		日本語の歴史	2				2					
		日本語研究史	2					2				
		現代日本語論A	2				2					
		現代日本語論B	2					2				
		日本文学史A	2			2						
		日本文学史B	2				2					
		古典文学講義A	2				2					
		古典文学講義B	2					2				
		古典文学特殊講義	2				2					
		近現代文学講義B	2				2					

	近現代文学講義B	2					2			
	日本文学特講A	2				2				
	日本文学特講B	2					2			
	日本語教育学講義A	2			2					
	日本語教育学講義B	2				2				
	日本語教授法A	2		2						
	日本語教授法B	2			2					
	日本語教授法C	2				2				
	日本語教授法D	2					2			
日本文化コア	日本の文化A	2			2					
	日本の文化B	2				2				
	日本の思想A	2				2				
	日本の思想B	2					2			
	現代思想	2				2				
	有形文化論A	2			2					
	有形文化論B	2				2				
	民俗調査研究法A	2			2					
	民俗調査研究法B	2				2				
	民間伝承論A	2					2			
	民間伝承論B	2						2		
	遊戯論	2					2			
	伝統芸能論	2				2				
	日本芸能史A	2					2			
日本芸能史B	2						2			
言語文学演習	日本語学演習A	1					2			2単位以上取得すること。
	日本語学演習B	1						2		
	日本文学演習A	1					2			
	日本文学演習B	1						2		
日本文化演習	日本文化演習A	1					2			
	日本文化演習B	1						2		
ゼミ	基礎ゼミ		2							
	研究ゼミ							2		
関連科目	文系パソコン活用A	1			2					
	文系パソコン活用B	1				2				
	文系パソコン活用C	1					2			
	書道A	2					2			
	書道B	2						2		
	言語学A	2	2	2						
	言語学B	2								

考古学A	2		2							
考古学B	2			2						
文化人類学	2		2							
比較文化論A	2		2							
比較文化論B	2			2						
ビジネススキルアップA	2				2					
ビジネススキルアップB	2					2				
インターンシップA	1				1					注1 注1、 夏季集中
インターンシップB	2				6					
漢文学	2				2					
中国文学	2					2				
日本語教育実習							2			
長期海外研修A	2		2							
長期海外研修B	2		2							
長期海外研修C	2		2							
長期海外研修D	2		2							
卒業研究								4	4	

- ・ 1 「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

人文学部 英語英米文化学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
基礎科目	フレッシュマンゼミA		2									必修科目を含めて8単位以上取得すること。原則として全てを取得することが望ましい。
	フレッシュマンゼミB			2								
	英語学入門A	2	2									
	英語学入門B	2		2								
	英米文化入門A	2	2									
	英米文化入門B	2		2								
	英語情報処理入門	2		2								
	異文化適応入門			2	(2)							
英語コミュニケーション科目	オーラル・ストラテジーA	2	4									26単位以上取得すること。ただし、オーラル・ストラテジーA～H及びリテラシー・ストラテジーA～Hは、原則として全てを取得することが望ましい。
	オーラル・ストラテジーB		2									
	オーラル・ストラテジーC	2		4								
	オーラル・ストラテジーD			2								
	オーラル・ストラテジーE	2			4							
	オーラル・ストラテジーF	1			2							
	オーラル・ストラテジーG	2				4						
	オーラル・ストラテジーH	1				2						
	リテラシー・ストラテジーA	2	4									
	リテラシー・ストラテジーB	1	2									
	リテラシー・ストラテジーC	2		4								
	リテラシー・ストラテジーD	1		2								
	リテラシー・ストラテジーE	2			4							

	リテラシー・ストラテジーF	1			2						
	リテラシー・ストラテジーG	2				4					
	リテラシー・ストラテジーH	1				2					
	ディスカッションA	1					2				
	ディスカッションB	1						2			
	ビジネス英語A	1					2				
	ビジネス英語B	1						2			
	時事英語A	1			2						
	時事英語B	1				2					
	スペシャルトピックスA	1					2				
	スペシャルトピックスB	1						2			
	上級英語A	1					2				
	上級英語B	1						2			
	長期海外研修A				2	(2)					
	長期海外研修B	2			2	(2)					
	長期海外研修C	2			2	(2)					
	長期海外研修D	2			2	(2)					
英語研究科目	英語の発音A	2	2								32単位以上取得すること。
	英語の発音B	2		2							
	英語のしくみA	2			2						
	英語のしくみB	2				2					
	英語の歴史A	2			2						
	英語の歴史B	2				2					
	英語と社会A	2			2						
	英語と社会B	2				2					
	日英比較言語論A	2			2						
	日英比較言語論B	2				2					
	応用言語学入門A	2			2						
	応用言語学入門B	2				2					
	英語学特講A	2					2				
	英語学特講B	2						2			
	長期海外研修E	2			2	(2)					
	長期海外研修F	2			2	(2)					
長期海外研修G	2			2	(2)						
究科目 英米文化研	英米の文学A	2			2						
	英米の文学B	2				2					
	英米の思想A	2			2						

	英米の思想B	2				2					
	英米の歴史A	2	2								
	英米の歴史B	2		2							
	英米の映画と演劇A	2	2								
	英米の映画と演劇B	2		2							
	日・欧・米比較文化論A	2			2						
	日・欧・米比較文化論B	2				2					
	異文化コミュニケーション論A	2	2								
	異文化コミュニケーション論B	2		2							
	現代英米事情A	2			2						
	現代英米事情B	2				2					
	英米文化特講A	2					2				
	英米文化特講B	2						2			
	長期海外研修H	2			2	(2)					
	長期海外研修I	2			2	(2)					
	長期海外研修J	2			2	(2)					
自主研究	自主研究	2									
	自主研究	2									
	英語英米文化海外研究	2									
	英語英米文化海外研究	2									
演習科目	英語英米文化演習A						2				
	英語英米文化演習A							2			
	英語英米文化演習A								2		
	英語英米文化演習A									2	
関連科目	ヨーロッパ文化論A	2			2						
	ヨーロッパ文化論B	2				2					
	児童英語教育論A	2			2						
	児童英語教育論B	2				2					
	日本語教授法A	2			2						
	日本語教授法B	2				2					
	日本語教授法C	2					2				
	日本語教授法D	2						2			
	言語学A	2	2								
	言語学B	2		2							

文系パソコン活用A	1			2						
文系パソコン活用B	1				2					
文系パソコン活用C	1					2				
ビジネススキルアップ A	2					2				
ビジネススキルアップ B	2						2			
インターンシップ	2					6				夏季集中
卒業研究								4	4	

英語科教育法（教科教育科目）4単位、3年次に開講

- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

人文学部 コミュニケーション学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
共通科目	スキル科目	日本語表現A			2							必修単位を含め8単位以上修得すること。
		日本語表現B				2						
		日本語表現C						2				
		社会調査法		2								
		映像制作A	2									
		映像制作B	2	2								
		映像制作C	2		2							
		音響表現	2				2					
		グローバル・メディア 実習A						2				
		グローバル・メディア 実習B								2		
		学術科目		現代文化史A	2	2						
現代文化史B	2				2							
社会学A	2			2								
社会学B	2				2							
心理学A	2			2								
心理学B	2				2							
言語コミュニケーションA	2			2								
言語コミュニケーションB	2				2							
コミュニケーション論A	2					2						
コミュニケーション論B	2						2					
メディアと歴史A	2			2								
メディアと歴史B	2				2							
メディア・クリティシズムA					2							
メディア・クリティシズムB						2						
現代芸術	2			2								
記号修辞論	2				2							

		映像分析A	2	2								
		音響分析A	2		2							
		比較文化論A	2		2							
		比較文化論B	2			2						
		メディア産業論A	2		2							
		メディア産業論B	2			2						
		表現と倫理A	2				2					
		表現と倫理B	2					2				
		メディア・コミュニケーション特講A	2		2							
		メディア・コミュニケーション特講A	2			2						
		政治とコミュニケーション	2					2				
		ジャーナリズム論	2		2							
		情報流通研究	2				2					
		メディア・テクノロジー	2			2						
コース科目	ジャーナリズム・コース	活字ジャーナリズム史	2		2							いずれかのコースを選択してそのコース科目から10単位以上、計18単位以上を取得すること。
		ニュース記事・編集	2			2						
		新聞研究A	2				2					
		新聞研究B	2					2				
		放送ジャーナリズム史	2		2							
		トーク撮影録音	2			2						
		テレビ放送研究A	2				2					
		テレビ放送研究B	2					2				
	社会コミュニケーション・コース	対人コミュニケーション	2		2							
		社会の心理	2			2						
		社会とことば	2		2							
		メディアとことば	2			2						
		地域とコミュニケーション	2				2					
		企業とコミュニケーション	2					2				
家族とコミュニケーション	2					2						
医療・障害者とコミュニケーション	2						2					

		広告とコミュニケーション	2					2				
コア科目	映像コミュニケーションコース	映画史A	2			2						
		映画史B	2				2					
		映画研究A	2					2				
		映画研究B	2						2			
		映像分析B	2			2						
		音響分析B	2				2					
		映像制作D	2				2					
		映像制作E	2				2					
		音響表現	2					2				
演習科目	フレッシュマン・ゼミA		2									
	フレッシュマン・ゼミB			2								
	メディア・コミュニケーション研究A						2					
	メディア・コミュニケーション研究B							2				
	メディア・コミュニケーション研究C								2			
		メディア・コミュニケーション研究D								2		
関連科目	文系パソコン活用A	1			2							
	文系パソコン活用B	1				2						
	文系パソコン活用C	1					2					
	日本語教授法A	2			2							
	日本語教授法B	2				2						
	日本語教授法C	2					2					
	日本語教授法D	2						2				
	ビジネス・スキルアップA	2					2					
	ビジネス・スキルアップB	2						2				
	インターンシップA	1						1				
	インターンシップB	1							6			
	行動科学A	2			2							
	行動科学B	2				2						
	現代思想	2				2						
	女性の歴史	2					2					
		技術の歴史	2			2						

注1、集中
注1、夏季
集中

地域と環境(自然地理学)	2			2						
日本地誌	2				2					
法学概論	2				2					
政治学概論	2			2						
哲学概論	2					2				
経済学概論	2						2			
アジアの歴史A	2			2						
ヨーロッパの歴史	2			2						
地域と都市(都市地理学)	2				2					
長期海外研修A	2			2						
長期海外研修B	2			2						
長期海外研修C	2			2						
長期海外研修D	2			2						
卒業研究								4	4	

- ・ 注1「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

人文学部 心理学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
心理学基礎科目	心理学実習A(実験法)		4									必修科目を含め16単位以上取得すること。 注1、夏季集中
	心理学実習B(質問紙法)			4								
	心理学実習C(面接法)	2				4						
	心理学実習D(知能検査)	2					4					
	心理学実習E(投影法)	2						4				
	心理学実習F(フィールドスタディ)	1							2			
	心理学概論A					2						
	心理学概論B	2					2					
	心理学史	2						2				
	心理統計学A	2	2									
	心理統計学B	2		2								
	心理統計学C	2			2							
	心理コンピュータ基礎	2		2								
	心理データ解析A	2			2							
	心理データ解析B	2				2						
認知心理学演習	2				4							
心理学専門分野科目	認知心理系	実験心理学	2	2							各分野より4単位以上、合計で24単位以上取得すること。	
		認知心理学A	2		2							
		認知心理学B	2			2						
		認知心理学C	2				2					
		認知心理学D	2				2					
	教育文化心理系	学校心理学A	2		2							
		学校心理学B	2			2						
		教育心理学A	2			2						
		教育心理学B	2					2				
		文化心理学A	2				2					
文化心理学B	2					2						

発達 社会心理系	パーソナリティ心理学	2	2									
	社会心理学A	2		2								
	社会心理学B	2				2						
	社会心理学C	2						2				
	発達心理学A	2			2							
	発達心理学B	2					2					
	臨床心理系	臨床心理学A	2	2								
		臨床心理学B	2		2							
		臨床心理学C	2			2						
		臨床心理学D	2				2					
		臨床心理学E	2					2				
		臨床心理学F	2						2			
心理学特別講義科目	比較心理学特講A	2	2								6単位以上取得すること。 注1、 夏季集中 注1、 集中 注1、 夏季集中	
	比較心理学特講B	2		2								
	心理学研究法特講	2				2						
	応用心理学特講	2						2				
	学校教育特講	2						2				
	現代と心	2					2					
	ビジネススキルアップA	2					2					
	ビジネススキルアップB	2					2					
	ビジネススキルアップC	2						2				
	ビジネススキルアップD	2						2				
	インターンシップA	1					1					
	インターンシップB	2					6					
	健康心理学A	2		2								
健康心理学B	2			2								
演習科目	フレッシュマン・ゼミA		2								必修6単位以上を取得すること。	
	フレッシュマン・ゼミB			2								
	心理学プレ演習A				2							
	心理学プレ演習B					2						
	心理学演習						2					
	心理学演習							2				
関連科目	社会学A	2	2								卒業要件指定なし。	
	社会学B	2		2								
	行動科学A	2			2							
	行動科学B	2				2						
	現代社会と福祉	2			2							

哲学概論	2				2				
経済学概論	2					2			
法学概論	2			2					
政治学概論	2		2						
表現と倫理A	2				2				
表現と倫理B	2					2			
現代思想	2				2				
地域と環境(自然地理学)	2		2						
日本地誌	2				2				
女性の歴史	2					2			
技術の歴史	2				2				
アジアの歴史A	2		2						
ヨーロッパの歴史	2		2						
地域と都市(都市地理学)	2				2				
海外研修A	2		2						
海外研修B	2		2						
海外研修C	2		2						
海外研修D	2		2						
卒業研究								4	4

注1 「心理学実習F(フィールドスタディ)」、「応用心理学特講」、「インターンシップA」及び「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。

- ・新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

人文学部 歴史地理学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
基礎科目	歴史学への案内		2								必修 8 単位 を取得すること。	
	地理学への案内		2									
	文献講読の基礎			2								
	地域調査の基礎			2								
専門科目	専門共通科目	歴史学の方法 A	2	2							6 単位以上 取得すること。 注 1、注 2 注 1、注 2 注 1、注 2	
		歴史学の方法 B	2		2							
		世界の中の日本	2	2								
		日本とアジア A (歴史)	2	2								
		日本とアジア B (地理)	2		2							
		現代社会と科学技術	2	2								
		フィールドワーク A	1									
		フィールドワーク B	1									
	フィールドワーク C	1										
	歴史学分野	テーマ科目	日本の古代	2			2					歴史学分野 より 6 単位 以上、地理 学分野より 6 単位以 上、計 20 単位以上取 得すること。
			日本の中世	2			2					
			日本の近世	2			2					
			日本の近代	2			2					
			日本の現代	2			2					
			日本思想史	2			2					
			アジアの歴史 A	2			2					
			アジアの歴史 B	2				2				
アジアの歴史 C			2				2					
ヨーロッパの歴史 A			2			2						
ヨーロッパの歴史 B			2				2					
技術の歴史			2				2					
郷土の歴史			2				2					
女性の歴史			2					2				
交通の歴史			2					2				
歴史学特殊講義 A			2					2				
歴史学特殊講義 B			2					2				
歴史学特殊講義 C		2						2				
歴史学特殊講義 D		2						2				
研究科目	日本古代中世史の文献を読む	2						2				
	日本近世史の文献を読む	2						2				

		日本現代史の文献を読む	2					2			
		日本思想史の文献を読む	2					2			
		アジアの文献を読むA	2				2				
		アジアの文献を読むB	2				2				
		アメリカ史の文献を読む	2					2			
		ヨーロッパ史の文献を読むA	2				2				
		技術から歴史を探る	2				2				
		美術から歴史を探る	2		2						
		地図から歴史を探る	2			2					
		アジアの文献を読むC	2					2			
		ヨーロッパ史の文献を読むB	2					2			
		史料学A	2		2						
		史料学B	2			2					
		史料購読基礎A	2		2						
		史料購読基礎B	2			2					
地理学分野	テーマ科目	地域と歴史	2			2					
		地域と都市	2				2				
		地域と経済	2				2				
		地域と環境	2				2				
		地域と産業	2		2						
		地域と情報	2		2						
		地域とまちづくり	2		2						
		地理学特殊講義A	2					2			
		地理学特殊講義B	2							2	
		地理学特殊講義C	2						2		
		地理学特殊講義D	2							2	
		日本地誌	2				2				
		アジア地誌	2					2			
		世界地誌	2							2	
	実習科目	地理学実習	1		2						
		地理学野外実習(集中)	1				2				
	研究科目	地理学野外研究	2				2				
演習科目		基礎演習A		2							必修2単位を含め 4単位以
		基礎演習B			2						
		歴史学演習A	1					2			

	歴史学演習 B	1						2			
	歴史学演習 C	1							2		
	歴史学演習 D	1								2	
	地理学演習 A	1					2				
	地理学演習 B	1						2			
	地理学演習 C	1							2		
	地理学演習 D	1								2	
関連科目	文系パソコン活用 A	1			2						
	文系パソコン活用 B	1				2					
	文系パソコン活用 C	1					2				
	文化人類学入門	2	2								
	比較文化論 A	2			2						
	比較文化論 B	2				2					
	社会学 A	2	2								
	社会学 B	2		2							
	民俗学入門 A	2	2								
	民俗学入門 B	2		2							
	考古学 A	2			2						
	考古学 B	2				2					
	インターンシップ A	1						1			
	インターンシップ B	2							6		
	現代と心	2							2		
	行動科学	2			2						
	行動科学	2				2					
	表現と倫理 A	2						2			
	表現と倫理 B	2							2		
	長期海外研修 A	2			2						
長期海外研修 B	2			2							
長期海外研修 C	2			2							
長期海外研修 D	2			2							
	卒業研究								4	4	

夏季集中

- ・注1 本学で受けた教育の成果を踏まえつつ、休業期間等を利用して、国内外において意欲的な現地調査等を実施した学生に対し、その成果報告書を評価する。事前に計画書を提出し、承認を受けなければならない。
- ・注2 「フィールドワークA」, 「フィールドワークB」, 「フィールドワークC」, 「インターンシップA」, 「インターンシップB」は、履修単位の上限に含めない。
- ・注3 卒業研究は、通年科目であり、同一年度内の春学期(7期)・秋学期(8単位)を通した履修が必要になる。

- ・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。
- ・新入生の第 期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・他学部・他学科受講不可の欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。

応用生物学部 応用生物化学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門教育科目	学部共通基礎科目												
	基礎数学	2	2										
	基礎物理学	2	2										
	基礎化学	2	2										
	基礎生物学	2	2										
	基礎地学	2	2										
	環境問題入門	2	2										
	バイオの世界	2	2										
	食糧問題入門	2	2										
	環境科学概論	2		2									
	プログラミング入門	2		2									
	基礎生理学	2			2								
	基礎生物学・基礎化学実験			3									
	基礎物理学・基礎地学実験								3				
学部共通専門科目	無機化学	2		2									
	有機化学			4	(4)								
	微生物学			2									
	生物化学				4	(4)							
	食品科学概論	2		2									
	分子生物学					4	(4)						
	食料資源論	2			2								
	生物統計学	2			2								
	分析化学	2			2								
	植物生理学	2				2							
	生物資源論	2			2								
	生態学概論	2			2								
	環境動物学	2				2							
	理論生物学	2				2							
	機器分析化学	2				2							
	微生物生理学	2				2							
	食品分析学	2							2				
	食品化学	4				4	(4)						
環境微生物学	2							2					
水質浄化論	2						2						

	環境化学	2				2				
	遺伝子工学	2					2			
	放射物理化学	2				2				
	応用微生物学	2					2			
	遺伝資源論	2					2			
	生物物理学	2				2				
	食品微生物学	2					2			
	生物有機化学	2						2		
	生体物質化学	2						2		
	生命倫理学	2							2	
	科学ジャーナル講読	2			2					
	原書講読	2					2			
	有機化学実験			3						
	分析化学実験			3						
	微生物学実験				3					
	酵素学実験					3				
	生物化学実験					3				
学科 専門 科目	微生物遺伝学	2				2				
	天然物化学	2				2				
	分子生理学	2					2			
	細胞生物学	4					4			
	生体防御学	2						2		
	生体高分子学	2						2		
	タンパク質工学	2				2				
	応用遺伝学	2						2		
	バイオ産業論	2							2	
	細胞工学	2							2	
	生理活性物質化学	2							2	
	微生物遺伝学実験							3		
	分子生物学実験						3			
	食品化学基礎実験				3					
	応用微生物学実験	1						3		
	天然物化学実験	1						3		
	卒業研究							4	4	

- ・備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

応用生物学部 環境生物科学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門教育科目	学部共通基礎科目												
	基礎数学	2	2										
	基礎物理学	2	2										
	基礎化学	2	2										
	基礎生物学	2	2										
	基礎地学	2	2										
	環境問題入門	2	2										
	バイオの世界	2	2										
	食糧問題入門	2	2										
	環境科学概論	2		2									
	プログラミング入門	2		2									
	基礎生理学	2			2								
	基礎生物学・基礎化学実験			3									
	基礎物理学・基礎地学実験								3				
学部共通専門科目	無機化学	2		2									
	有機化学			4	(4)								
	微生物学			2									
	生物化学				4	(4)							
	食品科学概論	2		2									
	分子生物学					4	(4)						
	食料資源論	2			2								
	生物統計学	2			2								
	分析化学	2			2								
	植物生理学	2				2							
	生物資源論	2			2								
	生態学概論	2			2								
	環境動物学	2				2							
	理論生物学	2				2							
	機器分析化学	2				2							
	微生物生理学	2				2							
	食品分析学	2							2				
	食品化学	4				4	(4)						
環境微生物学	2							2					
水質浄化論	2						2						

	環境化学	2				2				
	遺伝子工学	2					2			
	放射物理化学	2				2				
	応用微生物学	2					2			
	遺伝資源論	2					2			
	生物物理学	2				2				
	食品微生物学	2					2			
	生物有機化学	2						2		
	生体物質化学	2						2		
	生命倫理学	2							2	
	科学ジャーナル講読	2			2					
	原書講読	2					2			
	有機化学実験			3						
	分析化学実験			3						
	微生物学実験				3					
	酵素学実験					3				
	生物化学実験					3				
学科 専門 科目	環境修復学	2				2				
	植物資源論	2				2				
	大気圏環境学	2					2			
	生物環境調節学	2					2			
	環境工学	2						2		
	有用植物学	2						2		
	バイオマス論	2							2	
	自然保護論	2							2	
	水圏環境実験					3				
	土壌圏環境実験						3			
	食品化学基礎実験				3					
	環境植物生態学実験	1					3			
	卒業研究								4	4

- ・備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

応用生物学部 食品栄養科学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門教育科目	学部共通基礎科目												
	基礎数学	2	2										
	基礎物理学	2	2										
	基礎化学	2	2										
	基礎生物学	2	2										
	基礎地学	2	2										
	環境問題入門	2	2										
	バイオの世界	2	2										
	食糧問題入門	2	2										
	環境科学概論	2		2									
	プログラミング入門	2		2									
	基礎生理学	2			2								
	基礎生物学・基礎化学実験			3									
	基礎物理学・基礎地学実験								3				
学部共通専門科目	無機化学	2		2									
	有機化学			4	(4)								
	微生物学			2									
	生物化学				4	(4)							
	食品科学概論	2		2									
	分子生物学					4	(4)						
	食料資源論	2			2								
	生物統計学	2			2								
	分析化学	2			2								
	植物生理学	2				2							
	生物資源論	2			2								
	生態学概論	2			2								
	環境動物学	2				2							
	理論生物学	2				2							
	機器分析化学	2				2							
	微生物生理学	2				2							
	食品分析学	2							2				
	食品化学	4				4	(4)						
	環境微生物学	2							2				
水質浄化論	2						2						

	環境化学	2				2				
	遺伝子工学	2					2			
	放射物理化学	2				2				
	応用微生物学	2					2			
	遺伝資源論	2					2			
	生物物理学	2				2				
	食品微生物学	2					2			
	生物有機化学	2						2		
	生体物質化学	2						2		
	生命倫理学	2							2	
	科学ジャーナル講読	2			2					
	原書講読	2		3			2			
	有機化学実験			3						
	分析化学実験			3						
	微生物学実験				3					
	酵素学実験					3				
	生物化学実験					3				
学科 専門 科目	栄養生化学	2				2				
	食品機能学	2				2				
	食品製造学	2					2			
	食品安全学	2					2			
	醸造学	2						2		
	食品流通学	2							2	
	食品学実験				3					
	食品分析学実験					3				
	食品化学実験						6			
	食品加工学実験	1						3		
	食品製造学実験	1							3	
		卒業研究							4	4

- ・備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することができない。
- ・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

複合領域	細胞基礎科学	1			1					*	
	細胞情報科学	1				1					
	生体高次構築科学	1			1					*	
	生体高次情報科学	1				1				*	
	分子感染論	1			1					*	
	毒物分析・応答科学	1				1					
	演習	ゲノム科学演習	1					2			
		高分子科学演習	1					2			
細胞科学演習		1					2				
高次生命科学演習		1					2				
生命医科学技術総合実習	組織・病理学基礎実習				6					*	
	生体構築解析科学技術実習	2				3				*	
	生体分子解析技術	生化学系基礎実習				6					*
		分子生物学基礎実習				6					*
	微生物生体応答解析技術	分子分析先端科学技術実習	1				3				*
		微生物学実習	2			6					*
		免疫学実習	1				3				*
		実験動物・細胞科学技術実習					3				*
		毒物分析・応答学実習	1					3			*
		環境衛生学実習	1					3			*
人体情報学実習	1					3			*		
保健予防医科学	保健予防医科学総論						1				
	感染症予防医科学	1					1			*	
	環境因子誘導疾患予防医科学	1						1		*	
	腫瘍医学	1					1			*	
	代謝性疾患予防医学	1					1			*	
	運動器疾患予防医学	1						1			
	生活習慣病予防医科学	1						1			
	老化基礎医科学	1						1		*	
	疫学総論	1					1				
	医療情報・経済学	1						1		*	
環境・医療行政論	2					2			*		
保健予防薬技術開発	感染防御技術論	1					1			*	
	スポーツ医学	1					1			*	
	動物介在健康医学	1						1			
	予防栄養学	1					1			*	
	栄養予防医化学	1						1			
	保健予防漢方医学	1						1			
	保健予防創薬基礎学	1					1			*	
薬物開発先端技術学	1						1				

先端 医用 工学	生体力学	2					2			*
	医用細胞工学	2					2			*
	バイオメディカルマテリアル学	2					2			
	医療計測・情報学	2						2		*
	医用機器学	2						2		*
	先端医用工学実験	2						4		*
総合 演習 研究	インターンシップ	2					6			注1
	保健医療関連施設見学実習	1						3		注1
	卒業演習								4	4
	卒業研究								4	4
関連 科目	臨床生理学	2					2			注2 *
	臨床血液学	2						2		注2 *
	放射線医学総論	2						2		注2 *
	臨床検査総合実習	3							9	注2,注3

- ・ 注1 「インターンシップ」及び「保健医療関連施設見学実習」は、履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 「臨床生理学」、「臨床血液学」、「放射線医学総論」及び「臨床検査総合実習」の4科目の単位は、卒業要件に含めない。
- ・ 注3 「臨床検査総合実習」は、3年次終了までに教養教育科目の「コンピュータ入門」(2単位)及び専門教育科目(本表)備考欄の『*』で示した51科目73単位(合計で52科目75単位)を単位取得していない者は、履修することができない。本実習は、4年次春学期に行う学内実習と4年次夏季休業中に大学が指定する病院等で集中(1週間程度)して行う学外実習で構成される。なお、学外で行う実習に際して旅費等を含めた費用の実費負担が必要となる。
- ・ 新入生の第1期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・ 卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

生命健康科学部 保健看護学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	生命科学入門		1										
	医科学入門		1										
	生涯発達看護論			1									
	生と死の文化人類学	2		2									
	基礎保健医科学	生化学		2									
		生理学			2								
		生命物理化学	2		2								
		解剖・組織学		2									
	病態保健医科学	病理学			2								
		臨床病理学	1				1						
薬理学					1								
微生物学				2									
免疫学		1			1								
生体防御学		1			1								
遺伝・実験動物学		1		1									
疾病病態学概論					2								
疾病治療学概論					2								
放射線看護論						1							
社会保健医科学	栄養治療学				1								
	環境衛生学	2				2							
	公衆衛生学			2									
	疫学・健康教育論				2								
	臨床心理学				2								
	生命倫理学			1									
	学校保健学					1							
	社会福祉学		2										
保健管理指導学	看護情報学	1				1							
	保健行政論						2						
	看護マネジメント論									1			
	リスクマネジメント論							1					
	国際看護論										1		
学科専門科目	看護学概論		2										
	基本看護技術論		1										
	基本看護技術論			3									
	基礎看護援助論			4									
	基礎看護援助論				4	2							

	看護過程演習										
	成人慢性期看護学				2						
	成人慢性期看護学					2					
	成人急性期看護学				2						
	成人急性期看護学					2					
	老年看護学				2						
	成人精神老年看護学演習 (技術論)						4				
	老年福祉看護論	1					1				
	精神看護学					2					
	母性看護学					2					
	母性看護学演習						2				
	小児看護学					2					
	小児看護学演習						2				
	家族看護学						2				
	地域看護学					2					
	地域看護学						1				
	地域在宅看護学演習						2				
	地域看護活動論						1				
	在宅看護論					2					
実践 領域	ふれあい実習		3								注1、 集中
	生活援助実習					3					
	看護過程実践実習						6				注2、 注3、 集中
	成人慢性期看護学実習						9	(9)			
	成人急性期看護学実習						9	(9)			
	精神看護学実習						6	(6)			
	母性看護学実習						6	(6)			
	小児看護学実習						9	(9)			
	老年看護学実習						6	(6)			
	在宅看護論実習						6	(6)			
地域看護学実習						6	(6)				
看護 発展 領域	看護研究概論						1				注3
	看護セミナー						2				
	看護セミナー							3	3		
	看護制度論								1		
	先進医療看護論	1							1		
	ターミナルケア論	1							1		
	災害看護論								1		
	ピアカウンセリング	1							1		
	総合看護論								1		

- ・ 注1 「ふれあい実習」、「生活援助実習」及び「看護過程実践実習」は、長期休業中に集中で行うため、履修単位の上限に含めない。
- ・ 注2 「成人慢性期看護学実習」、「成人急性期看護学実習」、「精神看護学実習」、「母性看護学実習」、「小児看護学実習」、「老年看護学実習」、「在宅看護論実習」及び「地域看護学実習」の8科目は、6期又は7期に集中して行う。なお、各実習の履修時期、実習スケジュールや実習先等は、学科が調整して個人ごとに指定する。
- ・ 注3 「成人慢性期看護学実習」、「成人急性期看護学実習」、「精神看護学実習」、「母性看護学実習」、「小児看護学実習」、「老年看護学実習」、「在宅看護論実習」、「地域看護学実習」及び「看護セミナー（卒業研究）」の9科目は、3年次春学期終了時までに教養教育科目の選択必修13単位を含めて22単位以上を取得及び学科専門科目の1期から5期のすべての必修科目を単位取得していない者は、履修することができない。
- ・ 新入生の第1期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義及び外国人留学生対象の「日本語」はこれに含めない。
- ・ 備考欄に 印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修できない。
- ・ 「看護セミナー（卒業研究）」の開講時間については、指導教授の指示によること。

現代教育学部 幼児教育学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1	2	3	4	5	6	7	8			
専門教育科目	基礎科目											必修科目10単位を含めて計20単位以上を取得すること。	
	教育研究入門		2										
	教育研究入門			2									
	教育原理	2			2								
	発達心理学			2									
	教育心理学		2										
	社会福祉		2										
	児童福祉	2						2					
	現代子ども学	2							2				
	国際理解教育論	2		2									
	次世代育成支援論	2								2			
	言語表現学	2	2										
	教育ドラマ論	2		2									
	現代食育論	2					2						
	キャリアデザイン論	2				2							
	科学教育論	2					2						
	教育統計学基礎	2	2										
	実践科目	教育データ解析	2		2								
		教育データ解析	2			2							
教育ドラマ演習		2		4									
教育フィールドスタディ		2			4								
地域フィールドスタディ		2				4							
ヒューマンリレーション演習		2		4									
レクリエーション演習		2		4									
マイクロティーチング演習		2				4							
言語表現法演習		2					2	2					
科学教育演習		2					2	2					
インターンシップ A		1					3						
インターンシップ B		2						6					
学科専門科目	幼児教育課題研究						2				必修科目18単位を含めて26単位以上を取得すること。		
	幼児教育課題研究							2					
	保育原理		2	2									
	保育原理	2								2			
	養護原理	2			2								
	家族援助論	2						2					
教育課程論	2					2							

	小児栄養					2	2			
	養護内容	1				2				
	小児保健					2	2			
	小児保健実習	1					3			
	特別支援保育	1				2				
	特別支援保育	1						2		
	特別支援保育	1							2	
	精神保健			2						
	乳児保育	2		2	2					
	乳児保育	1					2			
	社会福祉援助技術	2		2	2					
	社会福祉援助技術	1						2		
	社会福祉援助技術	1							2	
	障害児の発達と理解	2						2		
	子ども発達支援				2					
	子どもの療育	2								2
	保育の現状と課題	2						2		
	保育の現状と課題	2								2
	保育の計画と評価	1								2
	指導計画の作成演習	1			2					
	レクリエーション理論	2				2				
	レクリエーション実技	2					4			
	事例検討の方法	2						2		
	教育内容論	2				2				
	教育内容論	2					2			
	現代食育論	2						2		
発展科目(保育)	基礎技能・造形	1	2							20単位以上を取得すること。
	基礎技能・造形	1		2						
	基礎技能・幼児体育	1	2							
	基礎技能・幼児体育	1		2						
	基礎技能・音楽	2	2	2						
	基礎技能・音楽	1			2					
	保育内容総論	2	2							
	保育内容(健康)	1	2							
	保育内容研究(健康)	1			2					
	保育内容(人間関係)	1		2						
	保育内容研究(人間関係)	1			2					
	保育内容(言葉)	1	2							
	保育内容研究(言葉)	1				2				
	保育内容(音楽表現)	1	2							

	保育内容研究（音楽表現）	1			2					
	保育内容（造形表現）	1	2							
	保育内容研究（造形表現）	1				2				
	保育内容（環境）	1		2						
	保育内容研究（環境）	1				2				
	総合演習	2			2	2				
	保育実習指導	1		1	1	1				
	保育実習	4		6	6					
	保育実習	2				6				
	保育実習	2				6				
発展科目（教職）	教職論	2			2					
	教育行政	2							2	
	教育相談	2				2				
	教育方法学	2				2				
	発達心理学	2						2		
	児童文学	2		2						
	保育カウンセリング	2					2			
	教職総合演習	2						2		
	教職実践演習	2						2		
	教育実習	幼児教育実習（事前事後指導）	1				3			
幼児教育実習（参加・観察実習）		1					3			
幼児教育実習（幼稚園実習）		3					9			
	卒業研究							4	4	

現代教育学部 児童教育学科 専門教育科目

(単位数に 印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
専門教育科目	基礎科目											必修科目を含めて10単位以上を取得すること。
	教育研究入門		2									
	教育研究入門			2								
	教育原理				2							
	発達心理学	2		2								
	教育心理学		2									
	社会福祉	2	2									
	児童福祉	2						2				
	現代子ども学	2							2			
	国際理解教育論	2		2								
	次世代育成支援論	2								2		
	言語表現学	2	2									
	教育ドラマ論	2		2								
	現代食育論	2					2					
	キャリアデザイン論	2				2						
	科学教育論	2					2					
教育統計学基礎	2	2										
実践科目	教育データ解析	2		2								
	教育データ解析	2			2							
	教育ドラマ演習	2		4								
	教育フィールドスタディ	2				4						
	地域フィールドスタディ	2				4						
	ヒューマンリレーション演習	2						4				
	レクリエーション演習	2		4								
	マイクロティーチング演習	2				4						
	言語表現法演習	2					2	2				
	科学教育演習	2					2	2				
	インターンシップ A	1							1			
	インターンシップ B	2							6			
学科専門科目	児童教育課題研究							4			必修科目4単位を含め計24単位以上を取得すること。	
	児童教育課題研究								4			
	家庭教育支援論	2							2			
	地域教育支援論	2		2								
	生涯学習論	2			2							
	生涯学習論	2							2			
教育方法学	2		2									

	教育情報学	2					2			
	カリキュラム開発学	2		2						
	学校心理学	2			2					
	対人関係論	2				2				
	国際理解教育演習 A	2				2	2			
	国際理解教育演習 B	2						2	2	
	科学実験入門	2		2	2					
	臨床心理学	2	2							
	知的障害児の心理	2		2						
	発達臨床心理学	2		2						
	知的障害児の生理・病理	2			2					
	児童精神医学	2				2				
	教育アセスメント	2				2				
	特別支援教育総論	2		2						
	知的障害児の教育	2					2			
	知的障害児の教育	2						2		
	ボランティア論	2					2			
発展科目 (社会教育)	図書館概論	2	2							
	博物館概論	2		2						
	マスコミュニケーション論	2		2						
	社会教育計画	2			2					
	社会教育計画	2				2				
	社会教育演習	2					4			
発展科目 (教科)	国語科研究	1				1				
	社会科研究	1				1				
	生活科研究	1			1					
	算数科研究	1			1					
	理科研究	1			1					
	体育科研究	1				1				
	図画工作研究	1		1						
	音楽科研究	1		1						
	家庭科研究	1					1			
	読書と豊かな人生	2	2							
	学習指導と学校図書館	2					2			
	情報メディアの活用	2				2				
	学校図書館とメディアの構成	2						2		
	学校経営と学校図書館	2								2

発展科目 (教職)	肢体不自由児の心理・生理・病理	2				2					
	肢体不自由児の教育	2				2					
	重複障害児・LD 児の教育	2						2			
	視覚・聴覚障害児の教育	2							2		
	病弱児の心理・生理・病理	2					2				
	病弱児の教育	2							2		
	国語科教育法	2			2						
	社会科教育法	2			2						
	算数科教育法	2				2					
	理科教育法	2				2					
	生活科教育法	2				2					
	音楽科教育法	2	2								
	図画工作教育法	2	2								
	体育科教育法	2			2						
	家庭科教育法	2						2			
	道徳教育法	2							2		
	教育行政	2						2			
	教育課程論	2					2				
	生徒指導論	2							2		
	教職論	2			2						
	特別活動指導法	2							2		
	教育相談	2							2		
	教職総合演習	2							2		
	教職実践演習	2								2	
	教育実習	児童教育実習 (事前事後指導)	1				3				
		児童教育実習 (観察・参加実習)	1			3					
児童教育実習 (小学校実習)		3				9					
特別支援学校教育実習指導		1						3			
特別支援学校教育実習		2						6			
	卒業研究							4	4		

教職に関する専門科目

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			1		2		3		4				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
教職の意義等に関する科目	教職概論	2				2							
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2				2							*心理学科の学生のみ履修可
	教育史	2				2							
	教育心理	2				2							
	教育心理学A	2		2									
	教育行政学	2						2					
	教育社会学	2								2			
	学校教育特講	2							2				
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	2				2							該当教科教育法のみ必修
	工業科教育法	2					2						
	工業科教育法	2						2					
	理科教育法	2					2						
	理科教育法	2						2					
	社会科・公民科教育法	2					2						
	社会科・公民科教育法	2						2					
	社会科・地理歴史科教育法	2					2						
	社会科・地理歴史科教育法	2						2					
	国語科教育法A	2					2						
	国語科教育法A	2						2					
	国語科教育法B	2							2				
	国語科教育法B	2								2			
	英語科教育法A	2					2						
	英語科教育法A	2						2					
	英語科教育法B	2							2				
	英語科教育法B	2								2			
	農業科教育法	2					2						
農業科教育法	2						2						

教育課程及び指導法に関する科目	情報科教育法	2				2					
	情報科教育法	2					2				
	商業科教育法	2				2					
	商業科教育法	2					2				
	保健科教育法	2				2					
	保健科教育法	2					2				
	中国語科教育法	2				2					
	中国語科教育法	2					2				
	道德教育の方法	2				2					中1種必修
	特別活動	2						2			
	教育方法論	2				2					
教育心理学B	2						2			* 心理学科の学生のみ履修可	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導(進路指導を含む。)	2						2			
	学校教育相談(カウンセリングを含む。)	2					2				
	臨床心理学F	2					2				* 心理学科の学生のみ履修可
総合演習	総合演習	2						2			
教育実習	教育実習A	3									(4年次)高1種
	教育実習B	5									(4年次)中1種
	職業指導	2					2				
	情報と職業	2					2				